

宇賀岳病院 年報

社会医療法人 黎明会

 宇賀岳病院

〒869-0502 熊本県宇城市松橋町松橋 1455 番地 1

TEL (0964) 32-3111 (代)

FAX (0964) 32-3112

URL : <http://www.reimeikai.jp/>

平成23年度

病院の理念と基本方針

社会医療法人 黎明会 宇賀岳病院

理 念 誠実な医療を実践し地域に貢献します

基本方針 地域のニーズに応える
安全な医療の実践
魅力ある職場づくり

患者の権利

1. 個人として常にその人格が尊重される権利
個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との相互信頼、相互協力関係のもとで医療行為を受けることができる権利があります。
この権利に基づき、主治医・受持看護師等と相互信頼、相互協力関係が保てない場合は変更を申し出る権利があります。
2. 良質で安全な医療を受ける権利
身分、人権、信条、性別、障害の有無などにかかわらず、適切で安全・良質な医療を公平公正に必要な限り継続して受ける権利があります。
3. 十分な説明を受ける権利
自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、理解しやすい言葉や書面などで、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。
こうした権利に基づき、自らの診療記録の開示を求める権利と、家族にも診療記録の開示を求める権利があります。
4. 自己決定の権利
充分な説明と情報提供を受けた上で、自己の自由な意思に基づいて、治療方法を選択し、治療を受け、拒否する権利があります。
自己決定の際に、主治医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
5. 個人のプライバシーが守られる権利
個人のいかなるプライバシーも守られる権利と、診療の過程で得られた個人情報 は 自己の承諾なくして、自己の診療に直接的にかかわる医療従事者以外に漏れたり開示されたりしない権利があります。

患者の責務

1. 本院の規則を遵守し、迷惑行為は慎んでください。
2. ご自身の健康状態について、できる限り正確にお話してください。
3. 適切な治療方針を決めるために、ご自身の意思や意見を伝えてください。
4. 治療方針をご理解のうえ、ご協力ください。
5. ご加入の保険を正確に伝え、受けた医療に対する医療費をお支払いください。



平成23年度

理事長挨拶

宇城総合病院への助走 —地域に安心を提供する医療機関を目指して—



社会医療法人黎明会宇賀岳病院理事長 清水 寛

平成23年度は、3月11日に発生した東日本大震災による大津波や福島第一原子力発電所の爆発事故による放射性物質の飛散等への対応に明け暮れた一年でした。政治的には9月に野田政権が発足し、総理が政治生命をかけるという「社会保障と税の一体改革」、特に消費税増税の是非が問われた年でもありました。

我が国は少産多死の時代に入り、2005年を境に人口は減少しています。しかし、高齢者人口比率は増加し、2025年には65歳以上の老年人口は30%を超え（30.5%）、絶対数で見ると我が国は2030年頃には史上最大の高齢者数になりそうです。

一方、国の借金は平成24年度末で937兆円、GDPの約195%と推定されています。これらのことから容易に想像されるのは、現在の社会保障制度を続けると消費税が10%に上がろうとも早晩、医療保険も介護保険も崩壊するという事です。

このような状況下で、今後の医療は大きく二つの方向に特化していくと考えます。一つは急性期医療への純化と、もう一つは医療・福祉への展開です。

急性期医療を中心とした医療機関はこれまで通り治療が終わると社会復帰させるという形態を保持していくでしょう。しかし、高齢者医療は「急性期」「亜急性期」に続き、「回復期」「慢性期」と目的や資源、組織体制の異なる「4つのケア」サイクルが中心となります。そして医療の目的は「絶対治療・絶対救命」から本人の求める機能を重視した「現状とのギャップを改善」することに転換することになります。高齢社会では徒歩圏内、すなわち小学校区にスーパーマーケットや集会場、包括支援センター及び診療所を一体的に設立した“町づくり”が求められると思います。そのような中、今後我々に期待されているのは開放型病院や地域の中核的病院としての包括的な支援システムを構築して行くことではないでしょうか。

平成24年7月に竣工予定の宇城総合病院は、宇城市及び周辺の地域の「急性期医療を担う病院」として、また「地域の総合診療機能を有する病院」としての役割があります。将来には、急性期医療で「断わらない救急医療」「救急患者の24時間受け入れ」を可能にすること。また、地域の医療機関及び福祉機関と連携し地域の総合診療機能を有する「地域に安心を提供する医療機関」としての役割が期待されていると思います。この数年、特に平成23年度はこれを具現化するための助走期間と位置付け、新病院は平成24年10月1日の開院を目指して準備を重ねて来た一年でした。お陰様で工事の進捗状況も順調に進んでいます。

これもひとえに皆様方の御協力と御尽力の賜物であると、心から感謝申し上げます。

病院長挨拶

飛躍に備える



病院長 江上 寛

宇賀岳病院は今年で創設28周年を迎えました。平成23年度は地域のニーズに応えること、安全な医療を実践すること、魅力ある職場を作ることを基本方針に事業を行いました。平成21年5月に創設された医療施設の耐震化の推進を目的とした「医療施設耐震化整備事業」に関する制度に則る全面建て替えをすることになり、3月14日に起工式を行いました。その後工事も順調に進み、最新の耐震機能を有しわが国トップクラスの環境性能を有する病院となる予定です。省エネルギーや地域への環境負荷の少ない資機材の使用、室内の快適性、景観への配慮など環境性能を重視した設計に取り組み、熊本県初の建築環境総合性能評価システム（CASBEE）Sクラスの認定をいただきました。効率的でスリムな運営を目指す新病院にふさわしい称号を得たと思います。平成24年6月30日竣工し、10月1日にオープン予定です。また、医療法人社団（特定医療法人）黎明会は平成23年5月1日に社会医療法人に認定されました。社会医療法人とは、救急医療や災害時における医療、へき地医療、周産期医療、小児医療（小児救急を含む）など地域で特に必要な医療（救急医療等確保事業）を効率的に提供するため、平成19年に創設され、平成20年から認定が開始された新しい法人類型です。認定されると公的病院など同等に税制上の優遇処置が受けられました。申請から認定までに3年を要しました。全国の急性期病院に勝るとも劣らない実績を上げて狭き門を突破した職員の努力に敬意を表します。

さらに病院はこれまで急性期病院にとって必要不可欠とされていた病院機能評価（Ver.4）の認定を受けておりましたが、本年はその更新のため病院機能評価（Ver.6）を受審し、平成23年4月24日に認定を受けました。2回の認定審査を経て病院は機能的に充実期に入ったとの感があります。今後も安全な医療の実践のためさらなる努力を続けます。

魅力ある職場づくりではいくつかの取り組みを行いました。教育研修面では、看護部は年間大学2校を含む4校から153名、リハビリテーション部は大学3校を含む11校から28名、事務部4校から4名、栄養管理科は大学3校を含む4校から8名、診療情報管理室は大学1校を含む3校から4名の研修受け入れを行いました。また平成23年度は熊本大学病院から地域医療の枠ではじめての研修医を迎えました。これも病院機能の充実が評価されたものと受け止めています。福利厚生面では、週休2日制の導入、長期休暇の取得を容易にするためのリフレッシュ休暇制の導入、災害時のDMATチーム、災害ボランティア派遣に支障を来さないようボランティア休暇制の導入などなど新しい取り組みも始めました。まだ評価する段階にありませんが、順調に運用されており今後も職員の意見を取り入れながら福利厚生の充実を図ります。

本年は投資を控え経費を節約しながら病院の飛躍に向けエネルギーを蓄えた1年であったと思います。平成23年も大過なく着実に業績を伸ばすことができました。これも職員一同の努力と周囲の皆様のご支援の賜物と思います。平成24年秋に病院は新築移転し名称は宇城総合病院となります。これからも地域医療の中核病院として立派にその役割が果たせるよう職員とともに頑張っております。新病院におきましても皆様方の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宇賀岳病院年報目次

病院の理念と基本方針			1
理事長挨拶	理事長	清水 寛	2
病院長挨拶	病院長	江上 寛	3
目次			4
沿革			6
施設基準			7
指定医療機関			8
学会等認定施設			8
職員数			9
組織図			9
中央診療部門			
呼吸器科	呼吸器科部長	福田 秀明	10
消化器科	消化器科部長	小山田直朗	10
循環器科	循環器科部長	中村 亮斉	11
小児科	小児科部長	板井 義男	12
外科	呼吸器外科部長	飽田 和博	12
整形外科	整形外科部長	大多和 聡	13
泌尿器科	泌尿器科部長	中村 武利	14
放射線科	放射線科部長	前田 陽夫	14
麻酔科	麻酔科部長	浦田 賢治	15
薬局	薬局科長	古城かほる	16
中央放射線室	中央放射線室室長	小原 克典	17
臨床検査科	臨床検査科科長	野村稚加子	18
臨床工学科	臨床工学科科長	吉田 廣志	19
栄養管理科	栄養管理科科長	野村千津子	20
地域医療連携室	地域医療連携室副主任	城戸 禎子	21
診療情報管理室	診療情報管理室室長	岩崎真理子	23
理学療法科	理学療法科科長	山口 里美	26
作業療法科	作業療法科科長	宮本 康弘	27
言語聴覚療法科	言語聴覚療法科科長	小田実穂子	28
宇城地域リハビリテーション			
広域支援センター	支援センター科長	山下 智弘	29
健診センター	健診センター長	並川 和男	31
腎・透析センター	腎・透析センター長	盛 三千孝	33
糖尿病センター	糖尿病センター長	竹田 晴生	33
中央手術センター	中央手術センター長	並川 和男	34

主部門

1 病棟	医長 赤城 哲哉／師長 南 和代	36
2 病棟	医長 小山田直朗／師長 荒木 郁代	36
3 病棟	医長 采田 憲昭／師長 藤本 睦代	37
5 病棟	医長 福田 秀明／師長 森崎 清司	38
外来	医長 竹田 晴生／外来師長 藤本 有子	39
救急外来	救命救急センター長 栗崎 貴	40

診療データ

入院患者数	41
科別入院患者数	42
ICD-10大分類による年齢別・性別統計（退院患者）	43
ICD-10大分類による在院日数期間統計（退院患者）	44
科別外来患者数	45
紹介・逆紹介件数（率）	46
診療科別紹介数割合	46
救急患者搬送	47
手術件数の推移と内訳	48
麻酔件数	48
リハビリテーション部	49
栄養業務	50
薬局業務	51
放射線業務	52
検査件数	53
内視鏡	54
この1年	55
職員紹介	59
平成23年度症例検討会発表一覧	66
業績（Ⅰ. 講演：学会発表 Ⅱ. 研修受入れ）	67
院内外広報誌	70
ホームページ	71

宇賀岳病院 沿革

- S 59. 7. 1 宇賀岳病院開院
本田溥院長就任
一般病床48床・合計48床許可
職員数80人
- S 59. 9. 7 一般病床64床・合計64床許可
- S 59. 11. 10 救急医療機関として指定
- S 59. 11. 19 一般病床80床・合計80床許可
- S 60. 10. 5 医療法人社団黎明会として設立
坂崎善暢理事長就任
- S 62. 7. 1 平原謙一院長就任
- S 62. 7. 1 東館増築
- S 62. 7. 6 一般病床180床・合計180床許可
- S 62. 11. 21 保育室開設
- S 63. 4. 1 狩場正敏理事長就任
- S 63. 11. 17 人工腎臓透析室開設許可
- H 6. 9. 14 一般病床197床・合計197床許可
- H 7. 7. 1 本田溥理事長就任
狩場岳夫院長就任
- H 8. 4. 17 一般病床147床・療養病床50床
合計197床許可
- H 8. 4. 17 東館3階増築
- H 9. 4. 1 村上幹彦院長就任
- H 9. 12. 4 東別館増築
- H 10. 4. 14 東外来棟増築
- H 10. 8. 14 一般病床97床・療養病床100床
合計197床許可
- H 11. 3. 3 災害拠点病院指定
- H 12. 4. 1 療養病床のうち8床を介護保険に変更
- H 14. 3. 19 東別館2階増築
- H 14. 3. 29 第二種感染症指定医療機関指定
- H 14. 4. 5 一般病床97床・療養病床100床・(感染4床)・合計197床許可
- H 14. 8. 30 一般病床147床・療養病床50床・(感染4床)・合計197床許可
- H 15. 4. 1 介護保険8床(療養病床)を医療保険に変更
- H 16. 4. 20 言語聴覚療法室完成
- H 16. 6. 17 一般病床152床・療養病床43床・感染病床4床・合計199床許可
- H 17. 3. 28 特定医療法人承認
- H 17. 9. 21 総合リハビリテーション施設増築
(総合リハビリテーションA施設)



昭和59年開設



昭和62年東館増築



平成10年東外来棟増築

- H18. 2. 1 江上寛院長就任
- H18. 4. 1 糖尿病センター開設
- H18. 4. 24 日本医療機能評価機構病院機能評価 (Ver.4) 認定
- H19. 3. 31 自家発電装置の設置
- H19. 11. 1 一般病床195床・感染病床4床・合計199床許可
- H20. 5. 29 清水寛理事長就任
- H20. 7. 20 DMA Tチーム発足
- H23. 4. 24 日本医療機能評価機構病院機能評価 (Ver.6) 認定
- H23. 5. 1 社会医療法人認定



平成17年総合リハビリテーション施設増築

施設基準 (平成24年3月1日現在)

届出区分	算定開始・変更年月日
10：1 一般病棟入院基本料 一般病棟看護必要度評価加算	平成22年4月1日
救急医療管理加算 乳幼児救急医療管理加算	平成22年4月1日
診療録管理体制加算	平成17年8月1日
医師事務作業補助体制加算	平成24年3月1日
急性期看護補助体制加算1	平成22年4月1日
療養環境加算	平成20年4月1日
重症者等療養環境特別加算	平成18年12月1日
栄養管理実施加算	平成18年4月1日
医療安全対策加算1	平成20年5月1日
褥瘡患者管理加算	平成16年4月1日
急性期病棟等退院調整加算2	平成21年6月1日
救急搬送患者地域連携受入加算	平成22年5月1日
小児入院医療管理料5	平成22年5月1日
回復期リハビリテーション病棟入院料1 重症患者回復病棟加算 休日リハビリテーション提供加算	平成22年7月1日
亜急性期入院医療管理料1 リハビリテーション提供体制加算	平成22年7月1日
糖尿病合併症管理料	平成20年10月1日
小児科外来診療料	平成12年1月1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年11月1日
開放型病院共同指導料	平成20年4月1日
地域連携診療計画退院時指導料 (I)	平成20年5月1日
がん治療連携指導料	平成22年11月1日
薬剤管理指導料	平成9年4月1日
医療機器安全管理料1	平成20年4月1日
検体検査管理加算 (I)	平成20年4月1日
CT撮影及びMRI撮影	平成18年4月1日
無菌製剤処理料	平成21年11月1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	平成18年4月1日
運動器リハビリテーション料 (I)	平成22年4月1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	平成18年4月1日
透析液水質確保加算	平成22年5月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6 (歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む) に掲げる手術	平成20年4月1日
輸血管理料II	平成19年9月1日
麻酔管理料 (I)	平成15年11月1日
入院時食事療養 (I)	昭和60年11月1日

指定医療機関

保険医療機関	1984. 7. 1
生活保護法指定医療機関	1984. 8. 7
救急医療機関	1984. 11. 10
労災保険指定病院	1985. 10. 1
被爆者一般疾病医療機関	1985. 12. 17
指定自立支援医療機関（更生医療）	1994. 7. 1
災害拠点病院	1999. 3. 3
第二種感染症指定医療機関	2002. 3. 29
厚生労働省臨床研修病院	2004. 3. 31
熊本県がん検診従事者（機関） 認定協議会肝臓病認定医支援機関	2006. 04. 01
熊本県がん検診従事者（機関） 認定協議会前立腺がん精密検査機関	2006. 04. 01
熊本県がん検診従事者（機関） 認定協議会肺がん精密検査機関	2006. 10. 30
熊本県がん検診従事者（機関） 認定協議会胃がん大腸がん精密検査機関	2007. 01. 15
インターフェロン治療実施機関	2008. 6. 24
熊本県肝疾患診療連携ネットワークにおける肝疾患専門医療機関	2009. 8. 20
核酸アナログ製剤治療医療費助成制度に係る指定医療機関	2010. 7. 15

学会等認定施設

日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設（関連施設）	2000. 1. 1
日本整形外科学会専門医制度研修施設	2003. 10. 15
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	2004. 1. 1
日本リウマチ学会教育施設	2004. 9. 1
日本リハビリテーション医学会研修施設	2004. 11. 27
日本外科学会外科専門医制度関連施設	2006. 1. 1
財団法人日本医療機能評価機構認定病院	2006. 4. 24
日本呼吸器学会認定施設	2007. 11. 17
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	2008. 4. 1
日本がん治療認定医機構認定研修施設	2008. 12. 1
日本糖尿病学会認定教育施設	2012. 3. 22

職員数

区分	人数 H23.3.31現在	人数 H24.3.31現在
医師	24	26
看護師	142	140
准看護師	18	19
介護福祉士	5	6
看護助手	25	23
理学療法士	20	20
作業療法士	11	14
言語聴覚士	6	6
リハビリ助手	2	2
臨床心理士	0	1
薬剤師	5	6
薬局助手	2	2
放射線技師	6	6
臨床検査技師	8	8
臨床工学士	5	5
管理栄養士	4	4
社会福祉士	4	5
事務職	54	53
合計	341	346

※上記人数には臨時雇用者等を含む。
 ※業務委託者は含まない。

組織図

社会医療法人 黎明会
宇賀岳病院組織図
 平成23年5月1日 制定
 平成23年10月1日 改定



中央診療部門

呼吸器科

呼吸器科部長 福田 秀明

平成23年から、呼吸器内科は医師2名体制（福田医師、米良医師）にて診療を行っています。

平成24年から変化したことは、睡眠時無呼吸の入院検査の体制がとれなくなったことで新規の睡眠時無呼吸開始が出来なくなり、外来での定期通院の患者さんのみとなりました。気管支喘息、慢性呼吸不全、肺癌、肺炎の外来通院治療、入院も実施しています。

24年9月には新病院でベット数が減少されますが、同様の体制をとりたいと思っています。

消化器科

消化器科部長 小山田 直朗

■概要

小山田（2病棟責任医師）・采田（3病棟責任医師）の2名で、①消化器科疾患患者・②その他の内科疾患患者・③回復期リハビリテーション病棟の一部患者

上記などを受け持ち、合わせて院内で必要な消化器に対する検査・処置を行った。

■週間スケジュール

	月	火	水	木	金
外 来			小山田	采田	小山田
検査（午前）	小山田	小山田			采田
検査（午後）		小山田	采田		

■週間スケジュール

	H22年度		H23年度	
	実患者数	延患者数	実患者数	延患者数
外来	2,432	3,383	2,122	2,880
入院	409	12,055	376	11,387
消化管疾患	221	3,642	210	3,589

上部消化管内視鏡検査 944例

（止血術20例・粘膜切除術4例・EVL 5例・異物除去2例・食道ブジー1例）

下部消化管内視鏡検査 298例／内全結腸内視鏡検査は195例

（止血術3例・粘膜切除術21例）

ERCP 11例・EST 6例・EPBD 9例

PTCD / PTGBD 16例

腹部超音波検査 915例

消化管造影検査（上部13例・下部7例・小腸4例）

*上記検査数は消化器科・外科の合計

■病診連携・病々連携など

当院の方針に従って、近隣の医療機関・施設などと密接な連携を図り、紹介患者の受け入れや逆紹介を積極的に行っている。

循環器科

循環器科部長 中村 亮斉

循環器科は常勤医2名(盛、中村亮)に加え、熊本大学循環器内科から非常勤2名の応援を得て診療を行っている。心不全に伴う呼吸困難、胸痛・動悸の自覚、失神発作、不整脈の指摘、難治性の高血圧症などを契機に受診・紹介頂いており、心臓超音波検査による心機能の評価、負荷心電図検査による心筋虚血の評価、Holter心電図による不整脈の評価、内分泌学的検査による二次性高血圧の除外などを行っている。各検査の実施件数は、ここ数年増加傾向にある(図)。

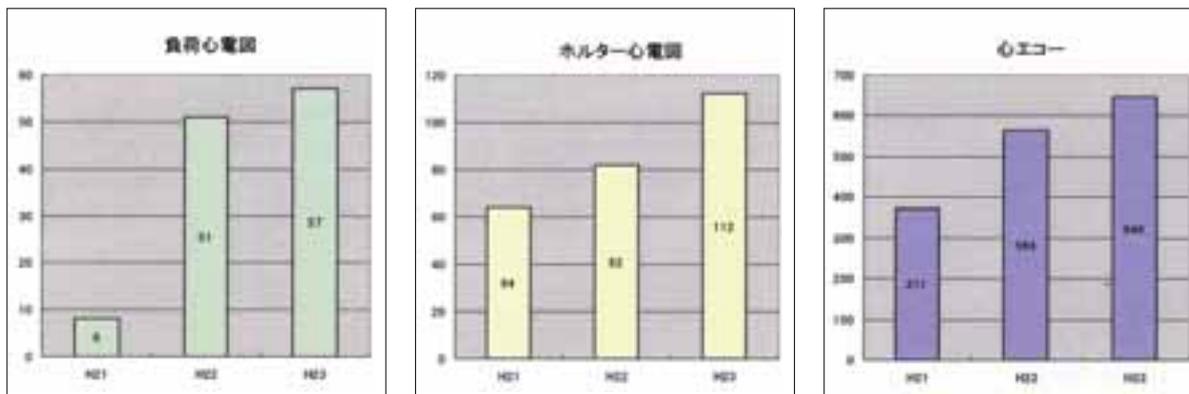
また、上記のような非侵襲的検査の結果を踏まえ、冠動脈CTや心筋シンチ、心臓カテーテル検査といった更なる精査が必要な場合は、熊本大学附属病院や済生会熊本病院などの高次医療施設にコンサルテーションを行っている。このような高次医療施設との連携は極めて良好で、当院にて急性期の心不全コントロールを行ったのちに原疾患の精査・治療のため高次医療施設に転院する場合もあれば、超急性期の治療を高次医療機関に依頼したうえで、亜急性期～慢性期のリハビリを含めた加療を当院にて行う場合もある。

外来週間スケジュールは下記の通りだが、心疾患の関与が疑われる症例については定期外来日以外にもコンサルテーションに応じて適宜診療を行っている。

■循環器科外来週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	中村亮斉	盛三千孝	中村亮斉	適宜	泉家康宏(非)
午後		適宜		上村智明(非)	適宜

■循環器科検査数



小児科

小児科部長 板井 義男

小児科外来は午前及び午後に、一般診療・4ヶ月健診・予防接種を医師2名体制で行っています。更に平成23年12月からは待望の「心理発達外来」を開設することができました。原則として第1、3金曜日の午後に臨床心理の先生に来ていただけるようになりました。

なお、平成24年4月からの外来担当は表の通りです。

曜日	月	火	水	木	金
午前	村上 幹彦	村上 幹彦	板井 義男	村上 幹彦	村上 幹彦
午後	板井 義男				

※心理発達外来(第1・第3金曜日の午後)

平成23年度の外来患者数は2,588名、1日平均10.7名です。4ヶ月健診52名、予防接種が大人のインフルエンザワクチンを含めて延べ1711名、心理発達外来が4ヶ月間で延べ15名と充実した内容でした。

一方、入院患者数は73名で、内訳は、肺炎19名（このうちマイコプラズマ肺炎が14名と多くを占めました）、気管支炎・喘息性気管支炎・細気管支炎19名（このうちRSウイルス感染症7名）、感染性胃腸炎15名、アデノウイルス感染症5名他でした。その多くが、開業医の先生方のご紹介によるものです。しかし、ベッドの都合がつかずにお断りせざる負えなかったことが何度かありました。先生方にはこの場を借りてお詫び申し上げます。

外科

呼吸器外科部長 飽田 和博

外科は、江上院長以下5名で消化器、呼吸器、乳腺など外科一般の診療を行っています。2012年4月からは、前田健晴医師を新たに加え6名体制となりました。外科関係の施設認定は、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設などです。

診療実績は、外来は新患1,123名、再来5,033名、新規入院は444名、延べ9,270名でした。手術件数は、総数149例で、内27例18%に悪性疾患の手術を行っています。中でも大腸癌が増加しており19例でした。高齢のためか進行癌の患者さんが多く、腸閉塞を来していることも珍しくなく、入院期間が長期となることがあります。また合併症のある患者さんも多く治療に難渋することもしばしばです。しかしながら地域医療のため外科医一丸となって患者さんと家族のためにより良い治療をするべく努力しております。当院には化学療法科はありませんので、抗がん剤治療のほとんどを外科医で行っており、入院で述べ32回、外来で151回を行ないました。マニュアル、手順に従い、全て安全に施行できました。また脳血管障害などのために摂食・嚥下障害のある患者さんに、内視鏡的胃瘻造設術（PEG）を積極的に行っており、造設数が64例、交換数は166例となっています。当院では全交換に上部消化管内視鏡を使用して交換

したチューブが胃内に挿入されていることを確認していましたが、今年末からPEG内視鏡を導入してチューブからの内視鏡で胃内に挿入されていることを確認しており、患者さんの負担軽減に努めています。

整形外科

整形外科部長 大多和 聡

現在、整形外科専門医3名（赤城、山城、大多和）で診療を行っており、麻酔科部長の井が兼務という形で診療に参加しています。当院は日本整形外科学会より研修施設として認定されています。また、平成24年4月より熊本大学整形外科の関連病院として認められました。高齢化に伴い、高齢者の骨折や慢性疾患が増加しています。地域完結型の診療を目指し、病診連携はもとより、病院同士の連携も大事にして、地域医療に貢献してまいりたいと思います。

■診療実績

外来患者数：平成21年度	新患 2,109名	再診 7,484名
平成22年度	新患 2,002名	再診 6,460名
平成23年度	新患 2,051名	再診 6,727名
入院患者数：平成21年度	643名	
平成22年度	601名	
平成23年度	792名	

入院患者数は792名と全体（2,677名）の3割弱を占めております。

手術件数：平成21年度	346例
平成22年度	326例
平成23年度	396例

手術症例のうちわけ（平成23年度）

局所麻酔手術	55例
骨折	231例
人工関節（人工骨頭を含む）	33例
関節鏡	24例
脊椎	10例
その他	98例

■外来週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	山城 和馬	井 賢治	大多和 聡	非常勤医師	赤城 哲哉
午後	山城 和馬	井 賢治	大多和 聡	担当医	赤城 哲哉

泌尿器科

泌尿器科部長 中村 武利

当院は回復期リハビリテーション病棟を有しているため脳血管障害の入院患者さんも多く、そのため排尿管理についての院内依頼が多く寄せられます。また最近では近隣の御施設から紹介頂くことも多くなっています。透析を兼務しているためチストメトリー等の膀胱機能検査が十分行えないこともあります。現在の排尿状態をきちんと把握し、継続可能な排尿管理を提案するように努めています。また膀胱の尿貯留量や残尿量を簡便に測定できる機器（ブラダースキャン）を導入し外来での待ち時間短縮を図っています。

■週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	透析担当	透析担当 (隔週)	外来	透析担当
15時 午後		検査	透析担当 (隔週)	検査	透析担当

放射線科

放射線科部長 前田 陽夫

2011年4月1日より高橋先生の後任として赴任して以来、CT・MRIを主とした画像診断を行っています。今年の3月末までにはCT 3727件、MRI 1934件の需要がありました。1名体制ですので、出張等の不在時は遠隔画像診断によるサポートを受け、業務を遂行しています。最近では熊本中央病院との画像の共有が可能となり、医療連携や診断の幅に広がり期待できます。また、今年度の病院移転時にはCT・MRIとも新しい機種が導入されます。巷では、256列や320列といった超多列検出器のCTや、3テスラの高磁場MRIの導入が個人病院でも検討される時代にまで進化していますが、新規稼動するCT・MRIでも日常の診療・画像診断には十分な性能を備えていますので、「確実な診断を行うこと」が大事だと考えています。画像解析ソフトを利用した補助的な役割の画像も作製できますので、どのようなものが望まれ、どのようなものが提供できるのかを検討し、当院はもちろん、地域の診療施設に貢献できるよう努めてまいります。

ただ、赴任時より「血管内治療等のIVRで貢献したい」という気持ちは今でも変わりなく、画像診断の環境を整備しつつ、今まで習得してきた技術を忘れないうちに実現まで漕ぎ着ければと、切に思っているところです。

麻酔科

麻酔科部長 浦田 賢治

■麻酔科の概要

診療部スタッフ 麻酔科：浦田賢治（専任）、並川和男（兼務）、井賢治（兼務）

手術部スタッフ 鶴岡敏英、田中由美子、古澤ひとみ、衛藤典子、大平佳代子、上田薫

宇賀岳病院での麻酔科は、浦田が平成18年（2006年）専任医として着任以降、麻酔業務を行い、外科系医が補完的に麻酔業務を行う現在の体制になって5年が経過した。また、平成20年（2008年）4月より、日本麻酔学会の認定病院となった。

麻酔専門医の常勤化以降、手術症例が増加し、平成20年度以降は約500例前後へと増加している。特に整形外科の手術症例が増加している。今後は外科のスタッフの拡充に合せて手術症例の更なる増加が期待される。

■外来週間スケジュール

年度	17年度	18年度	19年度	20年度
手術数	289	357	374	475
年度	21年度	22年度	23年度	
外科	148	156	149	
整形外科	346	326	396	
泌尿器科	13	5	2	
手術数	507	487	547	

■麻酔科管理実績

年度	浦田	並川	井
21年度 麻酔管理症例 412/507	全麻 308例	全麻 30例	全麻 14例
	脊麻 29例	脊麻 11例	脊麻 20例
	337例(81.7%)	41例(9.9%)	34例(8.2%)
22年度 麻酔管理症例 427/487	全麻 329例	全麻 27例	全麻 23例
	脊麻 10例	脊麻 1例	脊麻 37例
	339例(79.3%)	28例(6.5%)	60例(14.0%)
23年度 麻酔管理症例 462/547	全麻 341例	全麻 16例	全麻 58例
	脊麻 17例	脊麻 2例	脊麻 28例
	358例(77.5%)	18例(3.8%)	86例(18.6%)

■麻酔科の取り組み

手術前日の術前回診と術翌日の術後回診を欠かさずおこなっています。特に、術後鎮痛とPONVは手術患者の術後愁訴で最も多い点ですので、注意深く観察・対処するように心がけています。いずれにしても、安全第一・合併症予防が大きな目標であることに変わりありません。

麻酔法に関しては、現在TIVAが主流ですが、ポンプがないため、まだ実施できずにいますが、来年度新病院移転によりポンプが購入されれば、すぐ実施できるよう取り組みたいと考えています。また低侵襲をめざすため①LMAによる気道確保・②自発呼吸での麻酔維持・③硬膜外・くも膜下麻酔の併用を主体とした麻酔を実施しています。また今後は、術前経口補水療法も外科系医師との連携のもとにすすめたいと考えています。

さらに、24年度以降は病院移転に向けて、電子カルテに対応するpaperChart やデータベースの導入をしていく予定です。

以下が具体的な目標・取り組みです。

- ①安全第一・合併症予防
- ②丁寧な術前・術後診察および説明
- ③痛くない麻酔
- ④術後嘔吐・嘔気の予防
- ⑤電子カルテの推進

薬局

薬局科長 古城 かほる

■概要

平成23年度は薬学部の新卒者が出なかったために募集しても常勤薬剤師がそろわない現状が続きました。しかし、1名の経験ある薬剤師や2名の非常勤薬剤師の確保ができたため業務を何とかこなすことが出来ました。しかし後期に主任の退職があり大打撃を受けました。特に若手の薬剤師にとって業務上での身近な指導者がいなくなったことと精神的な支えを失ったことがモチベーションの低下につながってしまいました。病院薬剤師としての病棟活動は目の前の業務をこなすような感覚で実施しましたが薬剤管理指導の算定には結びつかず目標を達成することができませんでした。特に前期は全く算定できない月もあり苦しい期間がありました。後半は徐々に非常勤薬剤師も業務に慣れ算定できるようになりました。収入面での病院への貢献は芳しくありませんでしたが持参薬の鑑別による薬剤の適正使用の推進や抗がん薬の最新のレジメン収集による検討、報告やミキシング等で薬剤師の存在はアピールできたと思います。

■認定

3名の常勤薬剤師が日本病院薬剤師会生涯研修の認定を取得しました。

年間40単位を取得するため学会参加や夜間の研修会、講演会に数多く出席して研鑽に励みました。

■業務展開

薬剤管理指導の算定には至りませんでした。病棟活動は活発に実施しましたし今後も内容をもっと充実させていきたいと思っています。平成24年度の診療報酬改訂で「病棟薬剤師実施加算」が取れるようになりましたので、是非算定したいものです。病棟に常駐する専従の薬剤師がいれば現在でも医師、看護師などとのチーム医療を実践していますので十分可能です。そのためにも常勤薬剤師の定着が課題です。

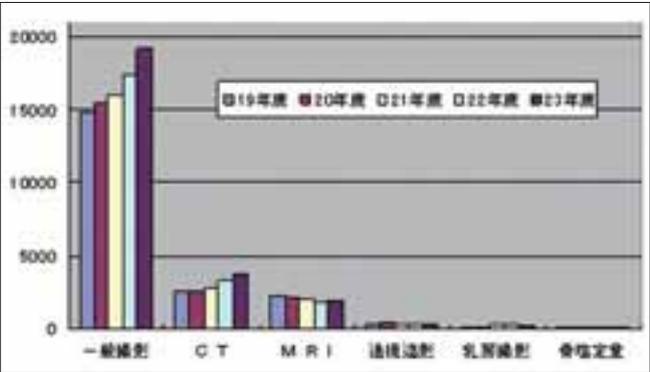
中央放射線室

中央放射線室室長 小原 克典

1. 年度別検査数推移

全体の検査数は昨年度比9.5%増加しました。4年前と比較すると25%を超える伸びです。

即時性に優れる一般撮影とCTは緊急検査として大変重要です。その他の検査数はほぼ横ばいであることに比べ、一般撮影とCTは年々増え続けています。救急医療の現場では更にニーズが高まることが予測されます。



2. 今後の動き

病院移転を機にCTおよびMRIが更新されます。



16列 マルチスライス CT
従来の1/2以下の線量で高画質スキャンが可能となり被ばくを最小限に抑えます。

SOMATOM Emotion 16-Slice configuration

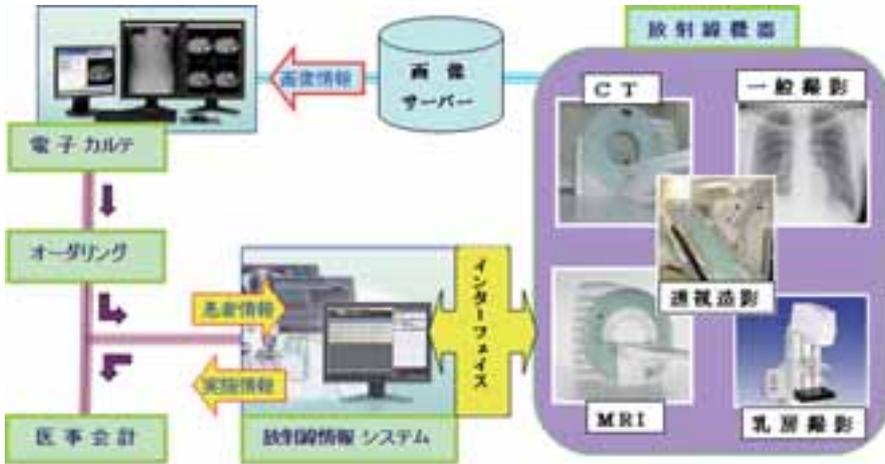


1.5テスラ MRI
スピード、柔軟性、高分解能、ワークフローの効率化など着実に進化しています。

MAGNETOM ESSENZA

また新たに放射線情報システム（R I S）が導入されます。電子カルテ・オーダーリングなど新しい病院情報システム（H I S）から送られる各種情報を放射線機器に翻訳・伝達するインターフェイスとしての役割を果たします。書類を介さず患者情報が届くため、各機器への情報入力の手間と誤入力のリスクがなくなります。

放射線部門の情報の流れ



診察室からオンラインで患者情報（検査依頼）が各検査機器に伝達され、検査が終了すると

実施情報および画像情報は直ちにネットワークを通じ配信されます。結果は院内すべての電子カルテ端末から閲覧することができます。同時に医事会計システムにも情報伝達され会計処理されます。



これからも安全で正確な画像情報の提供と効率的な業務の構築を目指します。

臨床検査科

臨床検査科科長 野村 稚加子

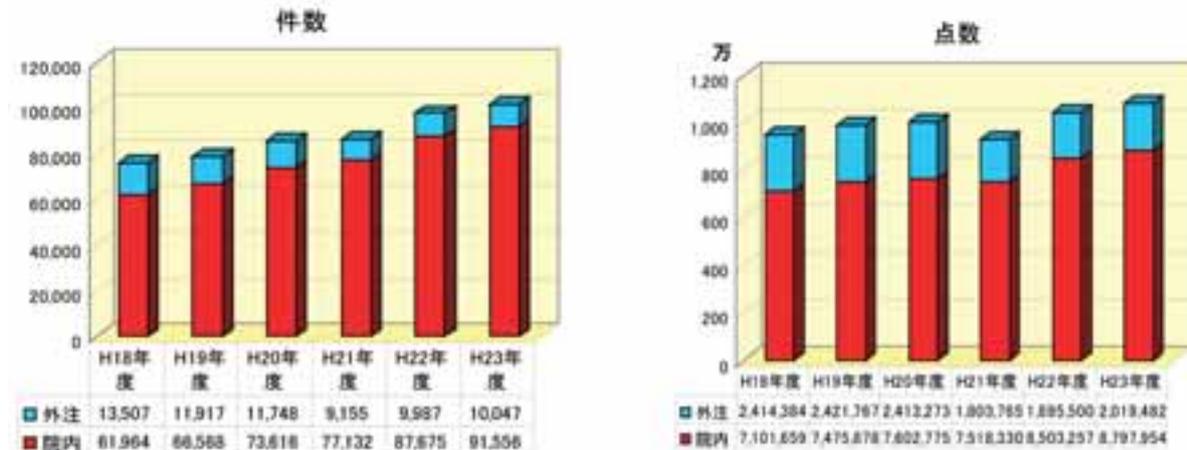
■概要

臨床検査科は、7月に1名、1月に1名の新入職者を迎え、臨床検査技師7名（午前中のみパート1名を含む）で生化学、血液、尿などの検体検査と心電図などの生理検査を行っています。通常の検査業務から緊急検査まで、昼夜を問わず24時間オンコール体制で対応しています。

平成23年度は、『誠実な医療の実践』を行動計画に掲げ、測定機器のメンテナンスと日々の精度管理を行ない、正確、迅速に検査結果を提供できるように努めてきました。新病院移転に向けて新しい生化学機器の検討を重ね、やっと決定し、それに伴いHbA1cや血球機器も更新することになりました。スムーズに移行できるように頑張りたいと思います。

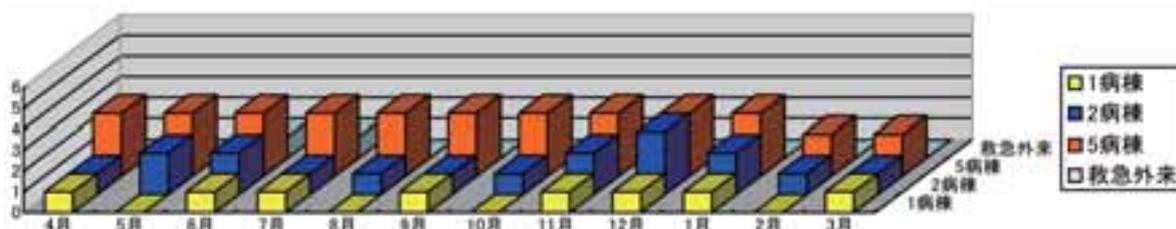
昨年より頸部エコーと心エコーを先生について研修中ですが、なかなか先生方も忙しく思うようにできませんでした。次年度も3年後の認定超音波検査士をめざし頑張っって研修していきたいと思っています。

■近年の検査件数と保険点数の推移



ME 機器中央管理年間活動状況

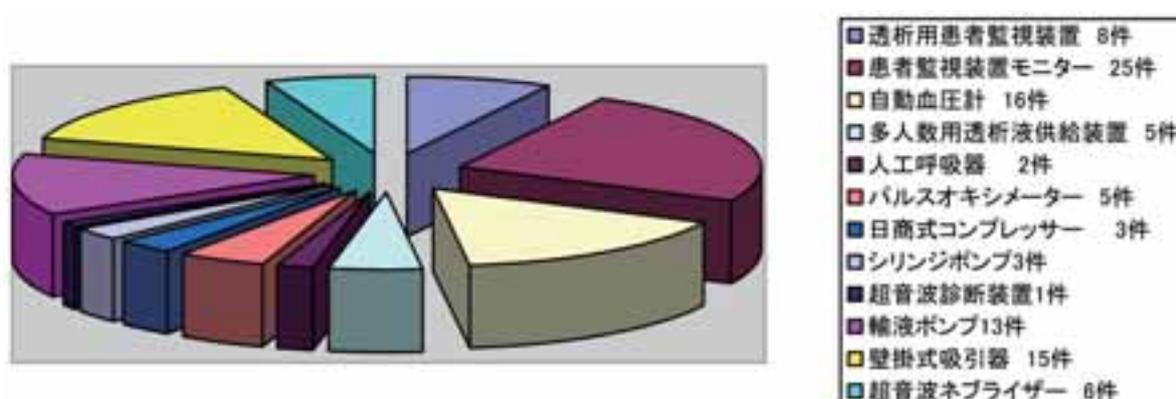
平成23年度 病棟別人工呼吸器使用台数



人工呼吸器の使用状況は、5病棟の使用が月平均3台で年間を通して一番多く使用していました。次に使用台数が多かったのは2病棟で月平均1台～2台でした。1病棟は手術後の患者様に使用することがほとんどで月平均1台を数日間使用されました、救急外来では6月と7月に携帯用の人工呼吸器を使用されました。

※3病棟は人工呼吸器の使用病棟ではありませんので使用はありません。

平成23年度 年間のME 機器の修理機器及び修理件数

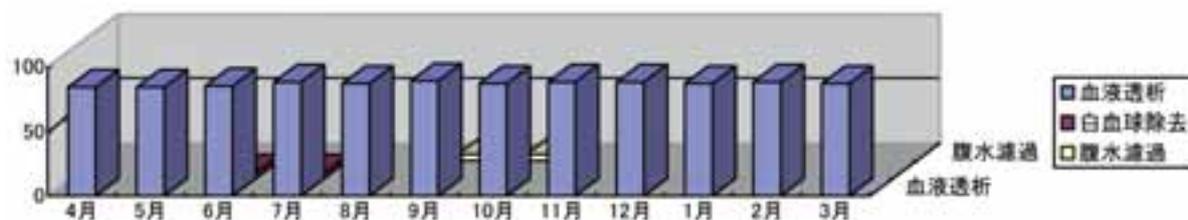


平成23年ME機器中央管理機器の修理件数で、特に多かったのは患者監視装置モニターの修理件数で25件あり心電図リード線の断線やマンシェットの劣化それとSpo2プローブの破損や断線が多くありました、去年多かった透析用患者監視装置は、新しい機器への買い替えが進んだ為に、本年度の修理件数は8件と大幅に少なくなりました、他の機器は特に変わりはありませんでしたが、自動血圧計の修理件数が16件と多くなりつつありました。

平成23年度血液浄化療法

腎・透析センターにて23年度に施行した血液浄化療法及び治療人数の推移（特殊治療含む）

血液透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	84名	84名	85名	88名	87名	89名	87名	88名	88名	87名	88名	87名
白血球除去	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	0名	0名	1名	1名	0名							
腹水濾過濃縮	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名



透析液の清浄化

23年度も透析液の清浄化に取り組んでいまして、腎・透析センターの透析用患者監視装置35台全台にエンドトキシンカットフィルターを取り付けて、清浄化された透析液にて治療を行えるようにしました。又、23年度予算にて購入した5台の機器（東レTR-3000MA）は清浄化された透析液を使用して、血液透析の準備（プライミング）や血液透析終了時の返血を行なうことが出来、さらに透析液を使用したオンライン血液濾過透析も補液ポンプを追加装着すれば出来るようになりました。これからも常に、綺麗で安全な清浄化された透析液にて治療を行って行きます。



日機装社製DCS-26・DCS-27 東レ社製TR-3000M のエンドトキシンカットフィルター

東レ社製TR-3000MAはオンラインHDF（血液濾過透析）が行なえる様に、エンドトキシンカットフィルターが2本装着されています。

栄養管理科

栄養管理科科长 野村 千津子

■概要

栄養管理科は、現在病院側管理栄養士4名、委託側管理栄養士3名、委託側栄養士3名、調理師8名、調理作業員4名の22名体制で運営しています（給食部門委託）。病棟業務は管理栄養士3名を専任とし、患者様の栄養管理を中心に医師、看護師、薬剤師らと協力し業務に当たっています。

栄養指導も積極的に介入、個別指導においては外来、病棟併せて1,708件になりました。疾患別に見てみると糖尿病、高血圧症、腎臓病といった対象者が多くなっています。また集団指導数は入院（1～2回/月）で80件でした。＜統計参照＞

外来では糖尿病センターを中心に生活習慣病教室（1回/月）が開催されています。毎回約

30名の方が参加され当科も昼食を兼ねて指導用のお弁当を作り提供しています。毎回好評で、指導する管理栄養士の研鑽の場ともなっています。

給食の延食数は、181,371食/年であり、平均165食/1回を提供したことになります。内訳は特別食が約79食（48%）、軟菜食が39食（24%）、常食は33食（20%）、その他（8%）となっています。また調整栄養は毎月変動しており約9食～18食で推移していました。〈統計参照〉

本年度は、栄養システム見直しや設備機器の受注など、検討事項が多くありましたが、業務をそれぞれ分担、全員で取り組むことが出来ました。

地域医療連携室

地域医療連携室 副主任 城戸 禎子

■体制

2002年4月に相談室から名称を変え、現在の地域医療連携室となりました。2011年度は室長（医師）のもと、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が4名から5名へと増員になりました。

■業務内容

地域医療連携室の業務内容は大きく「相談援助」と「転院調整（病診連携）」と「地域連携ネットワーク作り」、「広報活動」に分類されます。

1. 相談援助業務

医療ソーシャルワーカーが相談援助に関わる際には、医療福祉相談依頼箋が発生します。2011年度の依頼箋の発生は1,135件で、2010年度より201件増加しています。そのうち入院患者は1,117件でした。月別件数と支援・相談内容別件数は以下の通りです。

◇表1 入院患者介入の月別件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	81	75	95	76	106	106	102	88	99	94	101	94	1,117

◇表2 支援・相談内容別件数（年間）

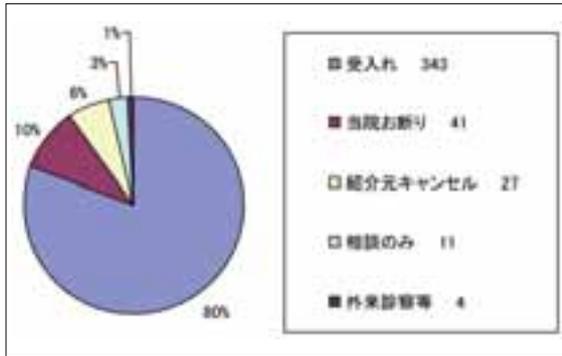
支援・相談内容	件数
医療費、経済的負担に対する支援	84
介護保険制度の利用支援	348
退院後の生活について相談	659
転院・転所調整	562
自宅退院支援	515
その他	44
合計	2,212

2009年度の支援・相談内容別件数は1,692件、2010年度は1,892件、そして2011年度は表2の通り2,212件となっており、増加の一途を辿っています。

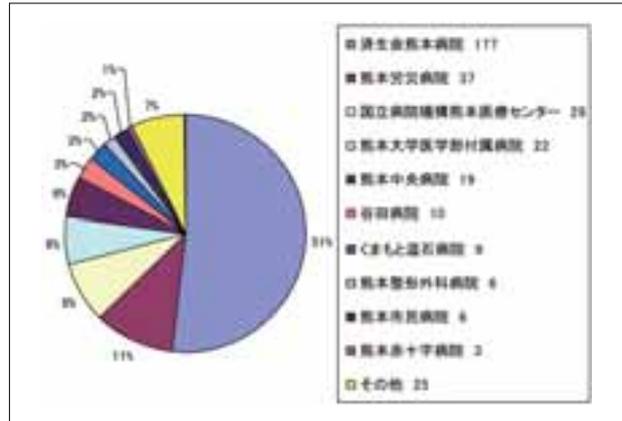
また自宅退院支援のなかに、退院前自宅訪問があります。患者本人、家族、担当療法士、担当医療ソーシャルワーカー、必要に応じ連携先の居宅介護支援専門員や改修業者の同席のもと実施しています。2011年度は、スタッフの入れ替わりや不足等があり、全ケースに医療ソーシャルワーカーが同席できませんでした。しかし実施ケースのほぼ全ての日程調整を担っています。

2. 転院調整（病診連携）業務

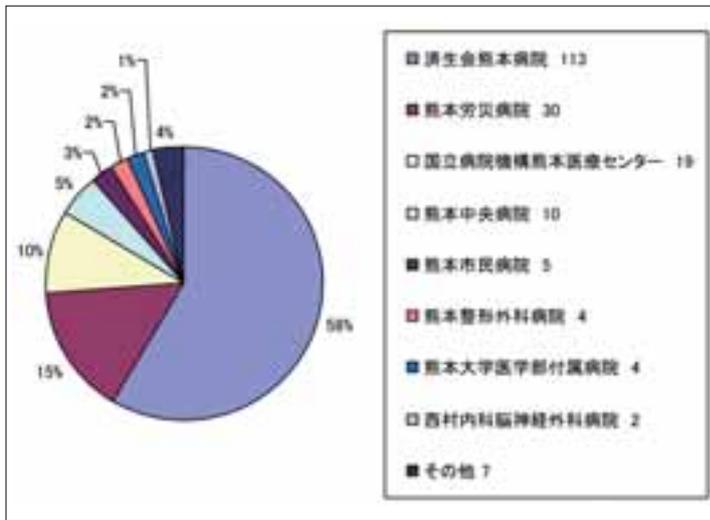
◇図1 転院調整数 426件



◇図2 受け入れ患者数 343件



◇図3 回復期リハ病棟対象患者数 194件



地域医療連携室では主に急性期病院から転院（予約入院）依頼を受け、日程調整を行っています。図1のように年間の相談件数は426件で、そのうち343件が受入れとなっています。受け入れ件数のうち、図2のように済生会熊本病院が177件で約51%を占め、熊本労災病院が37件で約11%、国立病院機構熊本医療センターが29件で約8%と続いています。2010年度の相談件数は370件で2011

年度は56件増加し、受入れも2010年度は303件で40件増加しています。また、図3のように、そのうち194件が回復期リハビリテーション病棟対象患者です。済生会熊本病院が113件、熊本労災病院が30件、国立病院機構熊本医療センターが19件と、3病院で全体の約83%を占めている状況です。

3. 地域連携ネットワーク作り

(1) 連携パス

脳卒中地域連携パスは79件で、大腿骨連携パスは13件でした。地域医療連携室では院内での取りまとめと、最終発送業務を担っています。

(2) 地域連携会議

当院には「地域の住民及び医療機関との共生を図る」との目的で地域連携推進委員会が設置されており、地域医療連携室は事務局を務めています。地域の連携医療機関・介護施設・居宅介護支援事業所等との情報交換や連携強化のための機会として、地域連携会議及び研修会を年2回開催しています。2011年度は初めての試みとして、講演形式ではなく「体験型介護実習」を実施しました。今後も、多くの方に喜ばれる会を目指して工夫していきたいと思っています。2011年度の内容は以下の通りです。

開催日	対象機関	会議内容	研修会内容
第12回 9月16日	連携居宅介護支援事業所・ 地域包括支援センター (宇城市、宇土市、美里町)	1.「災害時の急性期医療 (DMAT) について」 2.「在宅復帰を目指して～ 手術、リハビリ、 そして在宅へ～」	「浮腫について」
		参加人数20 (機関・事業所数13)	参加人数35 (機関・事業所数15)
第13回 2月21日	連携医療機関・介護施設等 (宇城市、宇土市、美里町、 熊本市城南町、甲佐町)	「体験型介護実習」 参加人数66(機関・事業所数20)	

(3) 医療機関・介護施設等訪問

前年度に引き続き2011年度も連携医療機関・介護施設等へ訪問を行い、患者・家族に対して地域の社会資源について十分な情報提供が出来るように努めています。52件実施した2010年度と比べ件数自体は減少していますが、訪問先に居宅介護支援事業所を新たに加えています。年間総件数は14件です。特別養護老人ホームが1件、居宅介護支援事業所が5件、小規模多機能型居宅介護が1件、有料老人ホームが7件になります。

4. 広報活動

院内の情報などを患者や家族、連携医療機関・介護施設等に発信するため、広報誌「やすらぎ」を発行しています。2011年度は3号発行しました。送付先連携医療機関・介護施設等は2010年度より7ヶ所増加し、38ヶ所になりました。より多くの方に情報発信ができるように、今後も送付先を増やしていく予定です。

診療情報管理室

診療情報管理室室長 岩崎 真理子

1. 概要

H23年度は診療録等管理室から診療情報管理室へと室名を変更致しました。現在スタッフは診療情報管理士2名とその他2名の4名です。5月に病院機能評価V6を取得しましたので診療録管理規定、診療録記載マニュアル、診療録監査マニュアル、診療録編綴規定、業務手順などが整備され、これに順じて、日々の業務を行って参りました。今年度は、院内がん登録室を立ち上げ登録業務を、軌道に載せることが出来ました。

2. 主な業務内容

①診療録の保管管理

入院診療録 (H10年から)

外来診療録 (H10年からH22年分)

心電図・ホルター心電図・エルゴメータ・PSG・マンモグラフィー・CDの保管管理

②入院診療録のスキャナーによる取り込み (H18年から)

③診療録貸出し業務 (診察、入院、研究調査の為)

- ④診療録の点検
- ⑤D P C 様式 1 の作成と点検（退院患者については毎日、月末入院中患者全員）
再入院調査協力（62件）
- ⑥院内がん登録（187件）
熊本県福祉部健康づくり推進課 中央登録室へ、がん登録届出協力
地域がん登録廻り調査協力（44件）
- ⑦各種統計作成
 - ・ 中間分類による主傷病名別退院患者件数【年度別】
 - ・ 在院日数分析【疾患別】
 - ・ 42日以内再入院率【疾患別】

3. 当院における地域別、疾患別退院患者の推移

(D P C 対象者)

※D P C 様式 1 よりデータ抽出
 (回復・亜急性期病床を除く一般病床退院患者対象)
 ※対象病棟に再度転棟された場合、
 その都度 1 入院とカウントする

地域別退院件数 図-1

	22年度	23年度
県南	7	6
天草	18	7
県北	6	7
県外	19	16
上益城郡	39	48
八代	97	98
熊本市	137	153
下益城郡	150	181
宇土市	502	542
宇城市	1,542	1,609
総 計	2,499	2,667



地域別疾患・大分類	宇城市		宇土市		下益城郡		熊本市		県外		県南		県北		上益城郡		天草		八代		合計		
	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	
呼吸器疾患	1	1																				1	1
循環器疾患	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
消化器疾患	20	20	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
泌尿器疾患	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
神経系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内臓器・感覚器疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼耳鼻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筋骨格系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,542	1,609	502	542	150	181	137	153	19	16	39	48	6	7	18	7	7	6	0	0	2,499	2,667	

理学療法科

理学療法科科长 山口 里美

理学療法科は、理学療法士数21名の若いスタッフで、患者様の一日も早いご自宅退院を目標に365日体制で治療・訓練に携わっています。

リハビリテーション部の中で理学療法科は、病気や怪我で、身体の障害を被られた患者様に対して、出来るだけ元の状態に回復するように治療したり、残された機能を最大限に利用しての起立・歩行訓練など、基本的動作能力を獲得する訓練を行なっています。

理学療法科の理念は

『個々のスキルアップを図り、質の高い理学療法を提供する』です。

患者様に、より効果的な治療技術を提供できるように、知識・技術の研鑽を重ね、常に向上心を持って業務に臨んでいます。

また、主治医、看護師、その他コメディカル部との連携・情報交換を大切にして、一人一人の患者様の特性・ご要望に応じた誠意ある対応を心掛けています。

○体験型介助指導

本年度は、院内医療事故防止を目的として、看護師・看護助手のスタッフを対象に介助方法の指導を行ないました。

理学療法科と作業療法科との協同で全看護師・看護助手を対象に、実践方式で移乗・移動動作の介助方法の指導をしました。



○地域連携推進会議・研修会での講義

近隣地域の連携病院・施設の職員様を対象に介助方法の指導を行ないました。

○生活習慣病予防教室での講義

毎月1回行われている生活習慣予防教室の一環として、専門職の立場から、提供できる情報や運動指導を行なっています。

■院外活動

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ・ 熊本県糖尿病療養指導士協会 | 山口里美（理事）・藤原照美・矢野のぞみ |
| ・ 日本糖尿病協会 | 山口里美・藤原照美・矢野のぞみ |
| ・ 熊本県理学療法士協会糖尿病小委員会 | 藤原照美・矢野のぞみ |
| ・ 日本心臓リハビリテーション学会 | 塚本一精 |

作業療法科

作業療法科科长 宮本 康弘

作業療法科では、14名の作業療法士が働いています。作業療法は、日常生活の中にある色々な「作業活動」を用いて行うリハビリです。

作業療法の目的は、次の3つの能力を維持・改善していくことにあります。①基本能力（運動機能・精神機能）、②応用能力（食事やトイレや更衣など、生活で行われる活動）、③社会生活適応能力（地域活動への参加・職業復帰への準備）の3つです。

作業療法は、「こころ」と「からだ」のリハビリです。心身ともにバランスがとれた生活を送っていただけるように、患者様お一人お一人がその人らしい生活に戻っていただけるように、14名が一丸となってその人のために誠心誠意に向き合って頑張っています。

2011年度は、新たに次の取り組みを行いました。回復期リハビリテーション病棟での生活に即した取り組みとレクリエーション活動です。回復期リハビリテーション病棟では、患者様の家での生活を想定し専従の作業療法士が中心となり、一日の始まりに私服に着替え、夕方に寝間着に着替えるといった練習を病棟スタッフと協力して取り組みました。また、レクリエーション活動では、患者様の認知機能の維持と向上を図ることを目的とし、患者様同士でコミュニケーションが行えるような場が提供できています。



服の着替えの練習場面



レクリエーション活動の場面

■院外活動

- ・熊本県作業療法士会 学術部 高次脳研究班 松本南美子・縄馬明人
- ・熊本県作業療法士会 調査部 部長 宮本康弘

言語聴覚療法科

言語聴覚療法科科長 小田 実穂子

■概要

言語聴覚療法科は、現在、言語聴覚士6名で活動しています。

地域に貢献するという理念のもと、言語聴覚療法科では主に、摂食・嚥下リハビリテーションに力を入れて活動して参りました。

23年度の当院での嚥下評価件数は実患者数が年間238件と22年度の114件と比して増加傾向です。

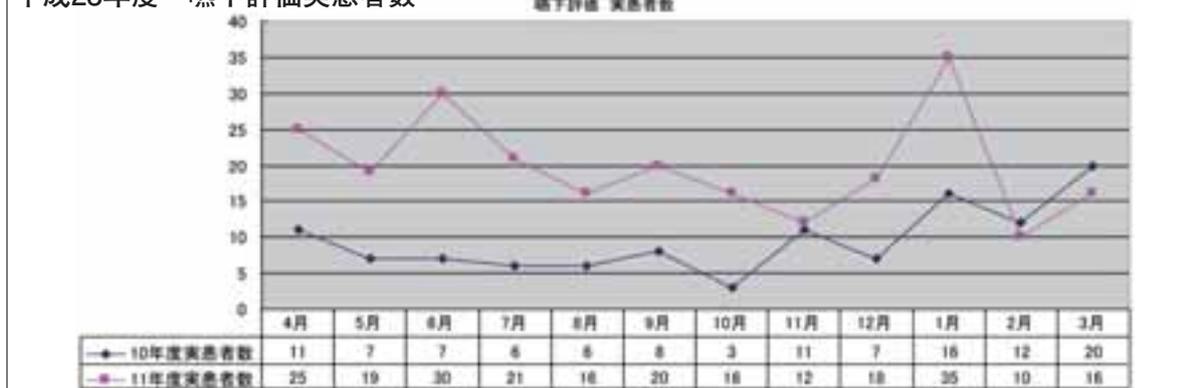
我々言語聴覚士が、多くの嚥下障害の方に携わっていくことで、少しでも安全にお口から食べて、生きる喜びを感じていただくお手伝いがしたいと考えています。

以下に嚥下評価の実施状況についてご報告します。

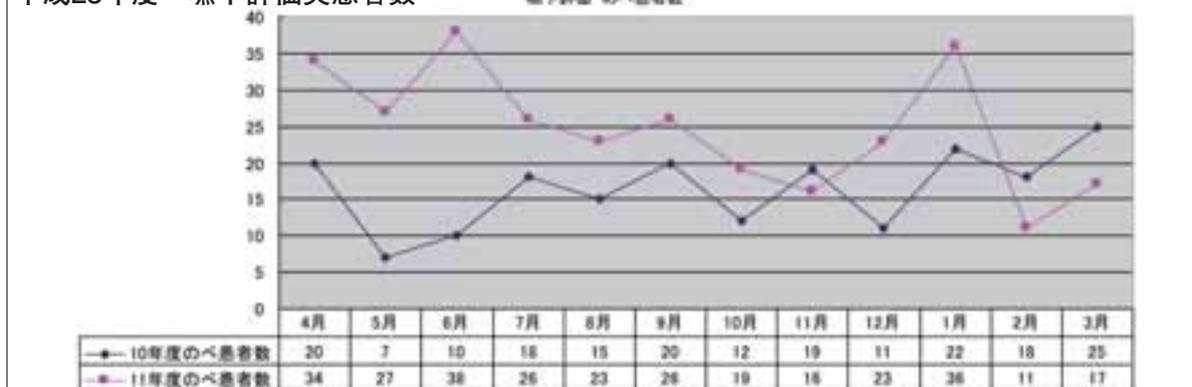
平成23年度 嚥下評価件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (名)	H22	11	7	7	6	6	8	3	11	7	16	12	20	114	9.5
	H23	25	19	30	21	16	20	16	12	18	35	10	16	238	19.8
のべ患者数 (件)	H22	20	7	10	18	15	20	12	19	11	22	18	25	197	16.4
	H23	34	27	38	26	23	26	19	16	23	36	11	17	296	24.7

平成23年度 嚥下評価実患者数



平成23年度 嚥下評価のべ患者数



言語聴覚療法科の目標は、

「症例検討会を行い、スキルアップとチーム力の向上を図る」です。

定期的に評価を実施し、客観的なデータをもとに訓練効果を確認していきます。

また、主治医、看護師、ケアワーカー、管理栄養士、その他の職種と情報の共有を図り、日々変わり行く患者様の状態変化を見逃さず、最適な治療を目指して参ります。

宇城地域リハビリテーション広域支援センター

宇城地域リハビリテーション広域支援センター 科長 山下 智弘

■はじめに

平成21年4月より、宇城地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、3年経過しました。昨年と比較してみても、行政担当の方々や包括支援センターの方々のご協力もあり、1年間の活動が概ね実施できました。

1. 介護予防普及啓発事業等の実施状況（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

1) 人的支援の実施状況

- 運動機能評価方法の講習会講師：4件
- 介護予防事業の講師およびサポート：18件
- 福祉健康教育事業 講師：2件
- シルバーヘルパー養成講集会 講師：1件
- サロンレクサポーターフォローアップ講習会 講師：3件
- 平成23年度介護予防サポーター養成講座 講師：3件
- その他 講師 3件

2) 相談対応件数（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

①相談者別実績

相談者	出張相談	電話相談	面談	合計
介護支援専門員	5件	3件	2件	10件
地域包括支援センター職員	29件	22件	4件	55件
介護保険事業所のリハビリテーション従事者	7件	8件	2件	17件
医療機関のリハビリテーション従事者	0件	0件	0件	0件
その他	32件	35件	0件	67件
計	65件	62件	8件	149件

②相談内容別実績

相談者	出張相談	電話相談	面談	合計
リハビリテーション	33件	12件	3件	49件
福祉用具選定	0件	0件	0件	0件
住宅改修	16件	13件	0件	29件
その他	24件	43件	5件	71件
計	73件	68件	8件	149件

3) 研修会開催状況

開催日	研修会名	研修会の概要 (テーマ、講師、参加者、参加人員)
2011/10/8	地域健康教室in宇城	<p>テーマ：「ロコモ」を知って元気に長生き！</p> <p>講師：熊本大学病院 水田教授 宇賀岳病院 赤城医師 にしくまもと病院 山口医師 熊本大学病院 入江助教 あさひコート 柏原氏 (OT)</p> <p>参加者：宇城圏域（一般、行政、地域包括、病院・事業所、民生委員、婦人会、食生活改善推進委員会）</p> <p>参加人数：146名</p> <p>主催者：下益城郡医師会・宇土郡市医師会・宇城保健所・熊本・宇城3地域リハビリ広域支援センター（宇賀岳病院・あさひコート・にしくまもと病院）</p>



2012/2/21	地域連携研修会	<p>テーマ：「体験型介護実習」</p> <p>講師：リハビリテーション部スタッフ</p> <p>参加者：看護師、ケアマネ、介護福祉士、介護職員、ヘルパー等</p> <p>参加人数：66名</p>
-----------	---------	--



4) リハビリテーションに関する情報誌等の発行状況

発行日	掲載内容	発行部数	配布数	配布先
2011年8月	宇城地域リハビリテーション広域支援センターセンターニュースVol.3	100	60	宇城市役所、美里町役場、圏域地域包括支援センター、介護保険事業所等
2011年8月	宇城地域リハビリテーション広域支援センターリーフレット	100	50	宇城市役所、美里町役場、圏域地域包括支援センター、介護保険事業所等

2. リハビリテーション関係機関、団体等との連携実施状況

1) 圏域内地域リハビリテーション連絡会議の開催状況

- 宇城市：平成23年6月…
- 1) 平成23年度宇城市の運動機能評価について
 - 2) 広域支援センターリーフレットの配布について
 - 3) 地域包括ケアシステムに
- 平成24年3月…
- 1) 平成23年度の運動機能評価を振り返って
 - 2) 県リハに提出するデータについて
 - 3) 平成24年度 介護報酬改定について
- 美里町：平成24年3月…
- 1) 平成23年度の運動機能評価を振り返って
 - 2) 県リハに提出するデータについて
 - 3) 平成24年度 介護報酬改定について
 - 4) 当支援センターとの関わりについて

健診センター

健診センター長 並川 和男

■概要

平成21年4月健診センター設立

- 1) 業務内容
 - * 健康診査
 - * 保健指導
 - * 禁煙指導
 - * 健康診査結果の登録、報告、管理
 - * 健診業務の営業
 - * 健康に関する市民への啓蒙活動

- 2) 健診メニュー

事業所健診（Aコース、Bコース、Cコース、Dコース）、日帰りドック
宿泊ドック、協会けんぽ生活習慣病健診、特定健診、宇城市後期高齢者健診、
宇城市生活習慣病健診、宇城市ハイリスク事業、宇城市乳がん検診、
宇賀岳病院職員定期健診 他

- 3) 健診日程 毎週（月・火・水）

- 4) スタッフ 医師1名 看護師1名 事務2名

【健診センター実績】

年間健診実績内容健康診断項目	平成23年度受診者数
Aコース	101
Bコース	332
Cコース	436
Dコース	25
日帰りドック	37

年間健診実績内容健康診断項目	平成23年度受診者数
宿泊ドック	9
宇賀岳病院 入職時健診	35
〇〇クリニック胸写健診	54
〇〇保育園 園児健診	25
特定健診	73
宇城市 後期高齢者健診	19
宇城市 生活習慣病健診	1
宇城市 ハイリスク事業（二次検診）	56
宇城市 4ヶ月健診	52
宇城市 乳がん検診（1方向）	62
宇城市 乳がん検診（2方向）	43
協会けんぽ生活習慣病健診	39
診断書	14
〇〇施設 一般定期健診	51
〇〇施設 入居者特別健診	86
その他	67
①合計人数	1,617

宇賀岳病院職員健康診断項目	平成23年度受診者数
宇賀岳病院職員定期健診	501
9・3月電離放射線従事者追加料金（白血球分類）	39
②合計人数	540
①合計人数+②合計人数	2,157

健康診断各月集計（宇賀岳病院職員定期健診は含まない）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	144	149	116	115	113	144	120	123	132	139	154	190	1,639
平成21年度	130	118	202	131	116	116	154	175	128	108	101	197	1,740
平成22年度	103	158	185	177	173	128	139	142	98	87	115	164	1,669
平成23年度	80	168	176	136	119	114	137	120	121	120	157	169	1,617

腎・透析センター

腎・透析センター長 盛 三千孝

■概要

当院の腎・透析センターは入院及び外来での維持透析や透析導入、血液透析の他、特殊治療やビジター透析の受け入れも行なっています。透析医療の現場は技術的進歩により高度に専門家される一方、医療事故や血圧低下、感染をはじめとする様々な合併症の発生リスクを伴います。患者数も関係施設からの転入などにより増加傾向にあります。24年度事業計画である、腎・透析センターの機能強化として外来透析患者の受け入れ拡大を目標に医師、臨床工学技士、看護師ケアワーカー、事務チームワークで安全・効率的な血液浄化治療を目指します。

1) 勤務人員

医師 2名：(腎・透析センター長) 盛三千孝 (泌尿器科部長) 中村武利

臨床工学技士 5名 看護師 16名 (うちパート 3名) ケアワーカー 1名 (5病棟兼任)

2) ベッド数 35床

3) 透析治療

月、水、金 午前、午後 2クール

火、木、土 午前 1クール

4) 2011年 4月～2012年 3月までの患者推移

導入 5名

転入 18名

転出 14名

死亡 6名

糖尿病センター

糖尿病センター長 竹田 晴生

■概要

竹田晴生医師は日本糖尿病学会学術評議員、同専門医、同認定指導医、日本糖尿病協会代議員、日本糖尿病協会熊本県支部理事兼副支部長、熊本県糖尿病対策推進会議委員、宇城地域糖尿病対策推進会議委員として病院内外で糖尿病患者教育活動を展開中。

また、当センターは日本糖尿病学会の糖尿病教育認定施設としても認定を受けている。

さらに、外来看護師、管理栄養士、理学療法士等が多数日本糖尿病療養指導士の資格を有しており、フットケア指導・糖尿病透析予防指導を含め、糖尿病に関するさまざまな療養指導を行っている。

外来スケジュール

曜日	月	火	水	木	金
午前	竹田	竹田	竹田	竹田	竹田
午後	なし	なし	なし	なし	なし

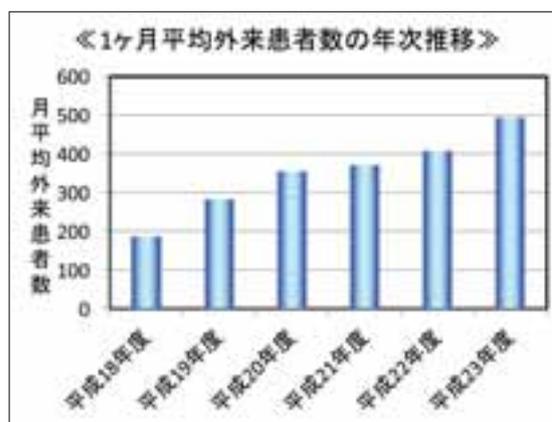
年次活動報告・トピックス

院内：毎月1回の生活習慣病教室実施

院外：(社)日本糖尿病協会熊本県支部主催・共催の各種行事への参加協力
(小児糖尿病サマーキャンプ、ウォークラリー、糖尿病週間行事、世界糖尿病デー記念行事等)

宇城地域糖尿病対策推進会議主催・共催

の各種行事への参加協力(宇城地域の糖尿病セミナー、市民公開講座、糖尿病健診等)



中央手術センター

中央手術センター長 並川 和男

■中央手術室

診療科：外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科

診療科別主要手術

外科：一般外科手術、消化器外科手術、腹腔鏡下手術、呼吸器科手術、VATS
乳腺外科手術、ヘルニア修復術、肛門外科手術、血管外科手術

整形外科：骨折手術(骨接合術)、関節鏡手術(肩関節・膝関節)人工関節置換術、椎弓切除術回転皮膚弁移植術、四肢切断術

泌尿器科：TUR-B、TUR-P、前立腺生検

スタッフ：外科5名、整形外科4名、泌尿器科1名、麻酔科3名、看護師長1名、看護師5名

手術室：一般手術室(手術台2台)バイオクリーン手術室(class100)回復室

手術日：月曜日～金曜日(8:30～17:30)

看護：機能評価Ver.6受審

手術消耗物品、中材消耗物品については適宜価格の見直しを行い、病院経営改善に取り組んだ。

教育：熊本県滅菌消毒法講座(8回/年)参加 古澤ひとみ 田中由美子 大平佳代子
上田 薫 衛藤 典子 村上 理香

：第2種滅菌技師認定講習会受講 村上 理香

資格：村上理香 第2種滅菌技士資格取得

診療科別手術件数	21年度	22年度	23年度
外科	148例	156例	149例
整形外科	346例	326例	396例
泌尿器科	13例	5例	2例
合計	507例	487例	547例

麻 酔 件 数	21年度	22年度	23年度
全身麻酔	356例	367例	416例
硬膜外麻酔	0例	3例	0例
脊椎麻酔	61例	45例	51例

■中央材料室

業 務：不潔物回収、洗浄、滅菌、滅菌物補充（SPD対象外の定数物品）滅菌物品の各部署へのサプライ

スタッフ：看護師長1名（手術室兼務）看護師5名（手術室兼務）看護助手1名

主 部 門

1 病棟

医長 赤城 哲哉／師長 南 和代

■概要

当病棟は、第2種指定感染病床：4床、亜急性期病床：8床、開放型病床：8床を有する54床の外科・整形外科の混合病棟です。急性期からターミナル期の患者が対象で、1日平均患者数50.2人、平均在院日数17.7日である。主な疾患は、消化器悪性疾患、鼠径ヘルニア、胆石、大腿骨骨折、頸椎・腰椎ヘルニア、変形性膝関節症である。年間手術件数は472件で、骨折観血的手術等は年々増加傾向にある。術前より深部静脈血栓防止や呼吸訓練に力を入れて、術後合併症対策に取り組んでいる。

■看護

- ①チーム医療を充実し退院までのサポートが専門的役割で出来ることを目指し取り組んだ。MSWや他職種との早期介入・連携、カンファレンスの開催、円滑なコミュニケーションを図り専門的サポートを行った。
- ②安全な医療・良質な看護を提供することを目指して取り組んだ。インシデントレポートの検証、再発防止策への業務改善や啓蒙活動を行った。さらなる課題に取り組み、良質な看護の提供をめざす必要がある。

■看護教育

- 1 新人教育 部署教育の充実 集合教育
- 2 経年別教育 院外研修会参加
- 3 院内研究、学会参加（日本静脈経腸栄養学会）

2 病棟

医長 小山田 直朗／師長 荒木 郁代

■概要

当病棟は、消化器内科、呼吸器内科、代謝内科などの一般内科を中心に外科、整形外科、小児科を含めた、病床数55床の混合病棟である。救急優先病床6床、救急専用病床4床、災害時集中治療室4床、亜急性期病床8床、開放型病床8床を有し、H21年度からは救急専用病床4床は常に時間外救急患者受け入れ可能な状況にし、態勢の充実を図っている。H22年からは呼吸器23年度には循環器医師も増え更に充実した医療が提供できると思われる。H23年度入院患者数1,094名、平均在院日数16.4日だった。

■看護

看護体制は固定チームナーシング+受け持ち制を導入しており日々患者様中心の看護を提供できるよう努力している。

1. 安全な医療を提供する。医療事故0件を目標にマニュアルの遵守を図りスタッフの意識向上に努めている。

人工呼吸器、輸液ポンプ等の使用も多く各勤務交替時に確認作業を実施し、異常の早期発見と管理に努めた。また 事故防止対策として 針刺し事故に力を入れて日々業務見直しを行っている。

2. 受け持ち看護の意識向上に向けての取り組みとして、専門的知識技術の習得を図り、情報の共有で安心できる入院生活の提供を目指している。

3. 診療部、看護部、地域連携室、リハビリ部、事務部、コメディカル部等との連携を図り、入院から退院まで専門的分野からサポートしている。また地域における病診連携も含め、開放型病床の十分な活用を推進していきたいと考えている。

■教育

- 1 新人教育 部署教育 集合教育 院外研修参加
- 2 経年別教育 院外研修会参加 外来講師による研修会開催
- 3 院内研究 「オリーブオイルを用いた口腔ケアは有効か」

3 病棟

医長 采田 憲昭／師長 藤本 睦代

■概要

回復期リハビリテーション病棟は43床を有し、脳血管疾患や大腿骨骨折などにより身体機能の低下をきたした患者さんを対象にリハビリの提供を行い、チーム医療の提供と院内外の連携を行い自立した日常生活活動の支援を行っていく病棟です。

H23度実績	入院患者重症度率	35.5%
	退院患者回復率	48.5%
	在宅復帰率	82.0%

■対象疾患

脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は術後義肢装着訓練を要するもの。

高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重症の脊髄損傷及び頭部外傷を含む他部外傷。大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の神経、筋、靭帯損傷、股関節または膝関節置換術後の1ヶ月以内。

■看護

当病棟は入院時から患者さんの在宅を見据えた看護に取り組み入院時より固定チームナーシング+受持ち制を取り入れ看護計画を立案し、リハビリと合同で毎日のチームカンファレンスと患者個々に初期カンファレンス（入院2週間以内）、総合カンファレンス（1患者に月1回）を開催し患者さんの回復を目指し、在宅復帰を目標に取り組んでいる。

より安全に回復への支援を行う為医療安全についてのスタッフの認識を深める為に1年間、KYT（危険予知訓練）をチーム編成し実践しその成果を院内外の研究発表に繋げた。チーム全体として意識が高まってきている。

入院中の患者さんと職員間のコミュニケーションと活力ある生活への支援の為、リハビリと合同により月1回のレクリエーション、7月には七夕会、12月にはクリスマス会と開催し入院生活の中で満足度を追求した。

■教育

- 1、新人研修
- 2、経年別教育、院外研修会参加
回復期リハビリ研究大会参加
- 3、院内研究発表
- 4、回復期リハビリテーション研究参加

5病棟

医長 福田 秀明／師長 森崎 清司

■概要

当病棟は内科系の一般病棟となります。定床は開放型病床7床を含む47床ですべて一般病床です。

中心となる患者層は、一般内科（呼吸器・消化器・循環器・内分泌など）と人工透析を受けている患者、中枢神経の障害などで長期にわたる人工呼吸器管理を要する患者です。

23年度の毎月の平均入院患者数は53名、退院患者数は50名であった。

人工呼吸器使用数は現在2件です。人工透析を受けられる入院患者数は平均10名で最高は15名であった。

■看護

当病棟は看護の質の向上に向け①患者様、家族に求められる看護ケアの提供②医療安全対策、感染防止対策の更なる強化③地球温暖化防止対策に向けた取り組み④働きやすい職場環境の整備について取り組んだ。

①については業務改善を行い効率よく無駄のない業務を目指し、また接遇マナーの向上に取り組んだ。貴重な意見も承り、接遇は継続して取り組む必要がある。②についてはインフルエンザの流行期に感染対策に取り組み、マスクの着用、手洗いの啓蒙、ガウンテクニックを徹底した。③についてはクリーン作戦参加率の向上、裏紙の使用、節電、節水に取り組んだ。④についてリフレッシュ休暇習得は100%出来ており、現在は残業時間の軽減に取り組んでいる。健康管理についてはインフルエンザのワクチン接種はほぼ全員施行した。

■看護教育

- 1 新人教育 部署教育の充実 集合教育
- 2 経年別教育 院外研修会参加
主な研修参加
認定看護管理者ファーストレベル受講
看護必要度評価者 院内指導者研修 ほか
- 3 院内研究 「口腔ケアに対する看護師の意識向上をめざして」を発表

外来

医長 竹田 晴生／外来師長 藤本 有子

■診療科

内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科
科・呼吸器外科・泌尿器科・肛門科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

■概要

外来受診の1日平均患者数257名、新患率19.0%、紹介率51.0%、逆紹介率32.6%である。救急車受け入れ台数は年間1,132台である。

検査では、内視鏡関連検査数は総数で年間1,555件、その他超音波・放射線検査等は2,009件行っている。検査だけでなく、毎週月曜日にPEG外来を開催し、内視鏡的胃瘻造設をされた患者のチューブ交換やケア相談を行い、地域連携も図っている。

H21年度より開始した外来化学療法では、本年度153件の化学療法を行っており、入院化学療法からの移行がすすめられている。(図1) 移転後の新病院では治療を受けられる患者の環境を整える為に専用の化学療法室も設置予定である。また、小児科外来では、各種予防接種業務を行っており、年間821件の予防接種の実施をしている。(図2)

整形外科以外は予約制の推進を行い、待ち時間短縮に向けて改善を続けている。

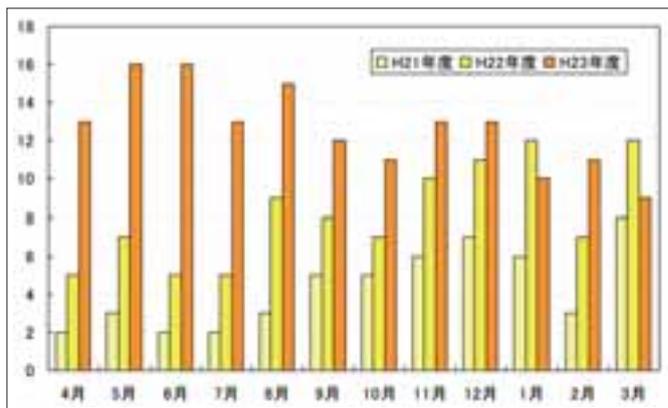


図1 外来化学療法件数

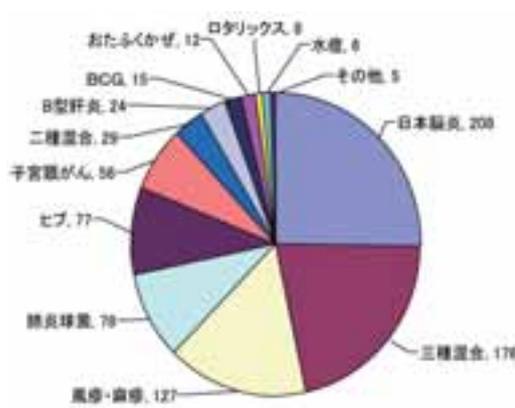


図2 予防接種内容

■看護

外来では、目標に「顔上げて目を見て交わそう心と心」を掲げ、病院の顔として恥ずかしくない接遇を心がけてきた。患者様からのご意見も貴重な声として日々改善に活かし、地域に求められる病院を目指してきた。また、専門知識向上のために、がん看護や救急看護等の研修への積極的参加を行ない、日々の業務の中でも「ヒヤリ体験忘れずに初心に戻って指示確認」を唱和し、安全な医療・看護ケアの実践に努めてきた。

今年度は、緩和ケアの一環としてがん末期患者の在宅訪問を医師と共に実施した。患者・家族の反応はよく、今後も在宅での緩和ケアに取り組んでいきたい。

■教育

- 1 新人教育 部署内での充実 集合教育
- 2 経年別教育 院外研修会参加

3 院内研究 「手指消毒の使用徹底をめざして」

4 その他 日本消化器内視鏡技師学会参加 BLSヘルスケアプロバイダー取得

救急外来

救命救急センター長 栗崎 貴

夜間・休日の緊急入院に備えて2病棟に4床を保有し、救急医療の円滑な運営に努力している。救急外来受診者、救急車搬入件数は年々増加している。幸いにも当院では、平成23年度に前田先生（放射線科）と大多和先生（整形外科）が着任され、医療スタッフは確実に充実してきている。ただ救急専任医・救急専門のスタッフは存在せず、全医師・全職員の協力のもと救急医療を運営している状況に変わりはない。

（救急外来ならびに救急車受け入れ状況）

平成23年度の救急外来受診者は5,353人（前年度4,981人）であった。

救急車搬入件数の増加は更に顕著であり1,132件（前年度971件）となった。ついに1,000件の大台を突破した。院外心肺停止症例も29人（前年度18人）と5割増加した。救急搬入症例の約半数（570例）が入院となっている。

救急搬入後に高次医療機関への転送を要したのは22件（1.9%）（前年度38件、3.9%）であり、救急搬入件数の増加とは相関していなかった。その約半数は脳血管疾患であった。救急隊員による病院選定が適切であることの現れであろうか？

（今年度の目標）

「（救急）医療の質の向上」が病院としての最大かつ普遍的な目標であろう。

このため、教育・研修の充実を具体的目標のひとつに掲げている。これは昨年度より継続しており、医師・看護師・コメディカルスタッフのBLSやACLS等の資格取得は順調に進んでいる。資格取得者が講師となり、事務系職員を含めた院内全職員に対して、心肺蘇生の院内講習会が定期的開催されるように計画しており、病院全体としてのレベルアップにつながるものと期待している（全職員の受講には数年を要するであろう）。

また、X線・CT等の画像を院外でも閲覧できるシステム（iPad使用）が構築され、運用されるようになった。各科専門医に気軽に相談でき、質の向上に寄与できるものと考えている。今年度は病院の新築移転があり、救急外来を受診する患者は更に増加するものと見込まれる。可能な限り負担は少なく、安全で質の高い救急医療を提供できるシステムを構築していきたい。

診療データ

入院患者数（病床利用率と平均在院日数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
病床数		199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199		199
在院患者数	総数	5,316	5,713	5,531	5,731	5,869	5,526	5,660	5,483	5,764	5,971	5,574	6,006	68,144	5,679
	一般病棟	3,677	3,935	3,802	3,911	4,046	3,762	3,836	3,720	3,937	4,146	3,863	4,180	46,815	3,901
	亜急性期	456	481	476	494	494	474	492	475	494	492	464	495	5,787	482
	回復期	1,183	1,297	1,253	1,326	1,329	1,290	1,332	1,288	1,333	1,333	1,247	1,331	15,542	1,295
新入院患者数	総数	207	196	205	238	261	223	221	217	209	230	217	253	2,677	223
	一般病棟	207	196	205	238	261	223	221	217	209	230	217	253	2,677	223
	亜急性期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院患者数	総数	203	171	214	233	267	229	214	206	230	204	228	249	2,648	221
	一般病棟	171	147	176	198	228	186	176	172	189	171	194	204	2,212	184
	亜急性期	12	8	13	14	10	22	14	14	13	12	11	19	162	14
	回復期	20	16	25	21	29	21	24	20	28	21	23	26	274	23
病床利用率 (%)	総数	89.0	92.6	92.6	92.9	95.1	92.6	91.7	91.8	93.4	96.8	96.6	97.4		93.6
	一般病棟	87.5	90.7	90.5	90.1	93.2	89.6	88.4	88.6	90.7	95.5	95.1	96.3		91.4
	亜急性期	95.0	97.0	99.2	99.6	99.6	98.8	99.2	99.0	99.6	99.2	100.0	99.8		98.8
	回復期	91.7	97.3	97.1	99.5	99.7	100.0	99.9	99.8	100.0	100.0	100.0	99.8		98.7
平均在院日数	総数	20.4	24.6	21.6	20.3	18.7	19.9	20.8	21.1	20.8	23.1	21.0	19.2		21.0
	一般病棟	16.2	19.1	17.0	15.6	14.4	15.4	16.3	16.4	16.8	18.2	16.5	15.4		16.4
	亜急性期	32.6	43.7	36.6	34.1	47.0	22.0	33.9	33.9	38.0	41.0	42.2	26.1		35.9
	回復期	48.3	63.3	52.2	58.9	45.1	74.1	50.8	59.9	41.0	62.0	52.0	47.6		54.6

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1病棟	在院患者数	1,418	1,515	1,531	1,538	1,540	1,492	1,595	1,478	1,545	1,589	1,503	1,635	18,379	1,532
	入院	73	72	78	81	93	84	72	76	64	94	77	81	945	79
	退院	76	54	66	79	87	74	65	71	61	68	60	74	835	70
2病棟	在院患者数	1,464	1,553	1,507	1,528	1,617	1,486	1,520	1,505	1,580	1,621	1,515	1,648	18,544	1,545
	入院	84	79	83	101	107	87	94	90	85	86	85	113	1,094	91
	退院	71	58	73	87	93	80	74	73	84	69	87	92	941	78
3病棟	在院患者数	1,183	1,297	1,253	1,326	1,329	1,290	1,332	1,288	1,333	1,333	1,247	1,331	15,542	1,295
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	20	16	25	21	29	21	24	20	28	21	23	26	274	23
5病棟	在院患者数	1,251	1,348	1,240	1,339	1,383	1,258	1,213	1,212	1,306	1,428	1,309	1,391	15,678	1,307
	入院	50	45	44	56	61	52	55	51	60	50	55	59	638	53
	退院	36	43	50	46	58	54	51	42	57	46	58	57	598	50
合計	在院患者数	5,316	5,713	5,531	5,731	5,869	5,526	5,660	5,483	5,764	5,971	5,574	6,005	68,143	5,679
	入院	207	196	205	238	261	223	221	217	209	230	217	253	2,677	223
	退院	203	171	214	233	267	229	214	206	230	204	228	249	2,648	221

科別入院患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	在院患者数	21	68	96	97	96	113	107	127	89	71	143	183	1,211	101
	入院	41	25	31	46	51	45	34	32	34	40	34	53	466	39
	退院	32	19	30	37	46	47	36	26	39	32	32	37	413	34
糖科	在院患者数	214	228	146	186	225	137	126	52	100	106	142	109	1,771	148
	入院	7	4	5	8	7	2	3	3	0	3	3	3	48	4
	退院	0	7	6	5	8	5	3	3	4	1	2	6	50	4
透析	在院患者数	164	258	218	213	236	182	182	147	171	165	283	271	2,490	208
	入院	3	3	0	4	4	3	1	2	0	6	8	3	37	3
	退院	3	2	3	3	5	4	3	2	2	3	6	4	40	3
小児科	在院患者数	21	14	11	20	39	29	17	49	27	39	24	23	313	26
	入院	5	3	6	6	9	5	5	8	6	8	6	6	73	6
	退院	6	3	6	5	8	6	5	8	7	7	6	7	74	6
外科	在院患者数	686	732	1,019	1,026	866	724	762	617	774	643	482	939	9,270	773
	入院	32	39	40	44	38	39	42	37	32	29	27	45	444	37
	退院	39	35	36	52	45	38	42	39	34	33	31	32	456	38
循環器科	在院患者数	388	465	432	330	419	596	539	553	540	618	473	482	5,835	486
	入院	9	12	4	6	8	8	7	14	11	6	9	11	105	9
	退院	14	13	8	7	8	9	7	13	13	8	11	17	128	11
消化器科	在院患者数	1,005	1,129	853	916	976	979	960	839	892	800	742	864	10,955	913
	入院	19	16	12	17	27	22	16	19	22	18	15	13	216	18
	退院	10	13	19	15	28	21	18	15	21	18	18	14	210	18
整形外科	在院患者数	1,832	1,862	2,002	2,126	2,164	2,139	2,285	2,332	2,462	2,541	2,604	2,455	26,804	2,234
	入院	46	47	73	67	71	61	73	70	71	72	69	73	793	66
	退院	62	37	62	71	77	60	63	66	69	61	65	95	788	66
呼吸器科	在院患者数	930	933	729	803	829	627	682	753	692	927	634	663	9,202	767
	入院	40	44	29	37	41	37	40	32	32	44	42	42	460	38
	退院	31	41	38	33	37	38	36	34	41	39	51	33	452	38
泌尿器科	在院患者数	55	22	25	14	19	0	0	14	17	61	47	17	291	24
	入院	5	3	5	3	5	1	0	0	1	4	4	4	35	3
	退院	6	1	6	5	5	1	1	0	0	2	6	4	37	3
合計	在院患者数	5,316	5,711	5,531	5,731	5,869	5,526	5,660	5,483	5,764	5,971	5,574	6,006	68,142	5,679
	入院	207	196	205	238	261	223	221	217	209	230	217	253	2,677	223
	退院	203	171	214	233	267	229	214	206	230	204	228	249	2,648	221

※入院数・退院数には転入・転出の数は含んでありません。

ICD-10大分類による年齢別・性別統計（退院患者）

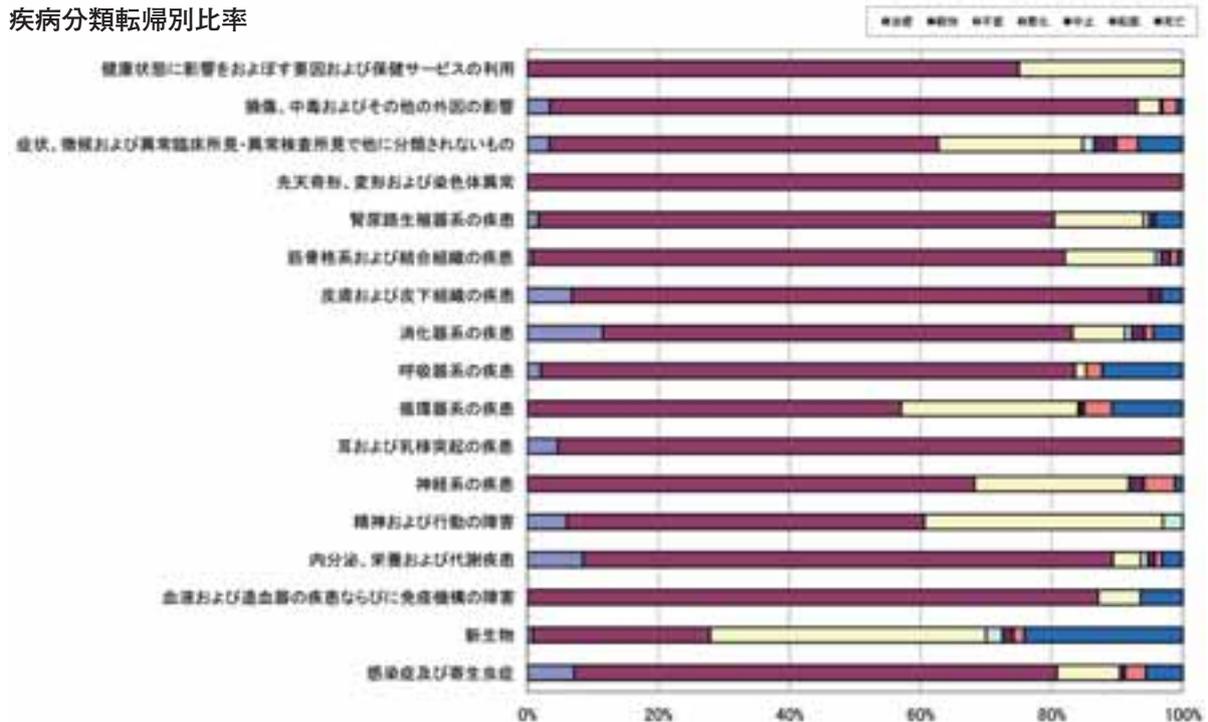
	性別	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代～	合計
1 感染症及び寄生虫症	男	10	9	2	5	2	4	14	8	1	55
	女	8	6	1	3	8	7	7	21	9	70
	計	18	15	3	8	10	11	21	29	10	125
2 新生物	男	0	1	0	3	1	38	48	33	5	129
	女	0	0	0	0	7	16	34	46	10	113
	計	0	1	0	3	8	54	82	79	15	242
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	1	0	0	0	0	4	3	1	0	9
	女	0	0	0	0	1	0	5	8	8	22
	計	1	0	0	0	1	4	8	9	8	31
4 内分泌、栄養および代謝疾患	男	1	2	1	7	10	11	9	6	3	50
	女	0	0	0	1	3	11	12	12	5	44
	計	1	2	1	8	13	22	21	18	8	94
5 精神および行動の障害	男	0	2	1	2	1	1	1	3	0	11
	女	0	3	2	2	3	3	2	7	0	22
	計	0	5	3	4	4	4	3	10	0	33
6 神経系の疾患	男	0	1	2	1	3	9	9	5	6	36
	女	1	0	1	1	1	6	11	26	2	49
	計	1	1	3	2	4	15	20	31	8	85
7 眼および付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 耳および乳様突起の疾患	男	0	0	1	1	1	1	2	4	1	11
	女	0	0	1	2	3	8	12	4	2	32
	計	0	0	2	3	4	9	14	8	3	43
9 循環器系の疾患	男	0	0	2	2	8	22	43	50	8	135
	女	0	0	0	2	5	15	40	69	43	174
	計	0	0	2	4	13	37	83	119	51	309
10 呼吸器系の疾患	男	40	6	6	5	12	13	44	85	28	239
	女	25	5	9	6	9	14	35	79	67	249
	計	65	11	15	11	21	27	79	164	95	488
11 消化器系の疾患	男	4	6	10	15	20	42	47	64	7	215
	女	6	4	5	4	8	24	37	72	23	183
	計	10	10	15	19	28	66	84	136	30	398
12 皮膚および皮下組織の疾患	男	0	0	2	2	0	11	7	8	3	33
	女	1	0	0	0	3	2	5	9	6	26
	計	1	0	2	2	3	13	12	17	9	59
13 筋骨格系および結合組織の疾患	男	5	1	5	11	19	16	29	28	6	120
	女	6	3	11	6	7	24	32	50	8	147
	計	11	4	16	17	26	40	61	78	14	267
14 腎尿路生殖器系の疾患	男	1	2	4	4	6	14	22	16	4	73
	女	0	2	0	2	0	6	9	13	12	44
	計	1	4	4	6	6	20	31	29	16	117
15 妊娠、分娩および産褥	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 周産期に生じた病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 先天奇形、変形および染色体異常	男	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	0	0	0	2	3	7	6	9	3	30
	女	0	1	0	3	4	3	3	12	4	30
	計	0	1	0	5	7	10	9	21	7	60
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	32	24	31	44	48	61	80	60	22	402
	女	16	10	8	10	46	63	111	173	67	504
	計	48	34	39	54	94	124	191	233	89	906
20 傷病および死因の外因	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	1	0	3	2	0	6
	計	0	0	0	0	1	0	4	3	0	8
合 計	男	94	54	69	104	134	254	365	381	97	1,552
	女	63	34	38	42	109	202	358	603	266	1,715
	計	157	88	107	146	243	456	723	984	363	3,267

※ 1 患者の 1 入院につき主病名が 2 以上ある場合は患者数は主病名の数とする。

ICD-10大分類による在院日数期間統計（退院患者）

		～7	～14	～30	～60	～90	～120	～150	～180	181～	平均在院日数	計
1	感染症及び寄生虫症	72	23	19	5	2	3	1	0	0	14.2	125
2	新生物	55	52	85	34	12	1	2	0	1	22.8	242
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	10	7	5	6	3	0	0	0	0	20.8	31
4	内分泌、栄養および代謝疾患	24	12	34	17	5	2	0	0	0	23.7	94
5	精神および行動の障害	21	5	4	1	2	0	0	0	0	11.0	33
6	神経系の疾患	45	18	13	3	2	3	0	0	1	19.6	85
8	耳および乳様突起の疾患	35	5	3	0	0	0	0	0	0	5.3	43
9	循環器系の疾患	46	48	63	69	38	24	9	10	2	44.9	309
10	呼吸器系の疾患	121	141	150	63	9	3	0	0	1	20.5	488
11	消化器系の疾患	163	113	79	34	8	1	0	0	0	14.3	398
12	皮膚および皮下組織の疾患	18	21	16	1	2	0	1	0	0	16.0	59
13	筋骨格系および結合組織の疾患	54	54	76	44	24	8	6	0	1	29.5	267
14	腎尿路生殖器系の疾患	33	40	29	14	0	0	0	0	1	18.9	117
17	先天奇形、変形および染色体異常	0	1	1	0	0	0	0	0	0	13.5	2
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24	13	17	5	1	0	0	0	0	15.2	60
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	162	145	195	199	149	47	8	0	1	35.8	906
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	1	0	1	5	1	0	0	0	0	43.5	8
	合計	884	698	790	500	258	92	27	10	8	26.6	3,267

疾病分類転帰別比率



科別外来患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	新患者数	118	123	75	97	95	96	89	94	114	215	126	123	1,365	114
	再診患者数	244	224	215	181	258	206	204	246	214	162	171	186	2,511	209
糖科	新患者数	5	7	18	14	12	16	18	19	20	22	12	7	170	14
	再診患者数	443	417	484	452	506	423	496	481	490	521	505	548	5,766	481
透析	新患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再診患者数	934	936	963	979	1,025	998	1,010	1,032	1,057	1,034	962	1,030	11,960	997
	導入患者 (転院患者)	1	3	1	4	1	2	2	1	1	3	2	1	22	2
小児科	新患者数	130	104	79	71	100	106	93	81	93	131	142	98	1,228	102
	再診患者数	126	107	106	80	126	79	114	100	109	133	152	128	1,360	113
健診	新患者数	108	188	237	229	265	195	274	694	371	263	276	263	3,363	280
	再診患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	新患者数	82	103	101	111	99	98	114	93	86	79	75	82	1,123	94
	再診患者数	458	425	393	381	449	433	448	427	434	456	352	377	5,033	419
循環器科	新患者数	24	30	47	18	34	26	36	22	20	34	28	22	341	28
	再診患者数	205	256	247	194	224	255	238	246	255	274	225	262	2,881	240
放射線科	新患者数	39	50	47	62	55	34	44	45	33	43	51	46	549	46
	再診患者数	17	15	11	13	23	8	21	22	11	7	7	5	160	13
消化器科	新患者数	50	42	47	48	44	28	36	28	33	43	47	28	474	40
	再診患者数	201	173	235	213	203	216	185	197	194	199	195	181	2,392	199
整形外科	新患者数	160	188	163	167	194	167	168	144	172	194	156	178	2,051	171
	再診患者数	516	488	467	547	587	537	583	561	578	591	624	648	6,727	561
リハビリ	新患者数	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	1	0	6	1
	再診患者数	649	591	822	739	784	648	707	803	786	760	818	709	8,816	735
呼吸器科	新患者数	81	78	65	54	57	64	67	67	50	50	137	59	829	69
	再診患者数	191	228	216	222	205	218	213	237	203	255	229	253	2,670	223
泌尿器科	新患者数	3	9	13	4	12	4	3	2	10	7	11	5	83	7
	再診患者数	68	60	74	70	88	63	39	30	66	62	48	66	734	61
合計	新患者数	800	922	892	877	967	834	942	1,290	1,003	1,082	1,062	911	11,582	965
	再診患者数	4,052	3,920	4,233	4,071	4,478	4,084	4,258	4,382	4,397	4,454	4,288	4,393	51,010	4,251
	合計	4,852	4,842	5,125	4,948	5,445	4,918	5,200	5,672	5,400	5,536	5,350	5,304	62,592	5,216
	1日平均数	243	255	233	247	237	246	260	284	284	291	255	253		257

紹介・逆紹介件数 (率)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
紹介件数	204	238	227	248	283	234	252	266	233	262	263	257	2,967	102.5%
紹介率	44.4%	46.3%	48.8%	53.6%	56.9%	53.8%	53.4%	61.9%	54.2%	45.2%	44.7%	53.5%	51.0%	102.5%
逆紹介件数	190	198	237	230	250	245	224	201	200	207	219	219	2,620	117.5%
逆紹介率	28.8%	27.9%	36.5%	36.5%	36.0%	40.9%	34.1%	34.4%	32.1%	26.4%	27.8%	33.3%	32.6%	117.5%

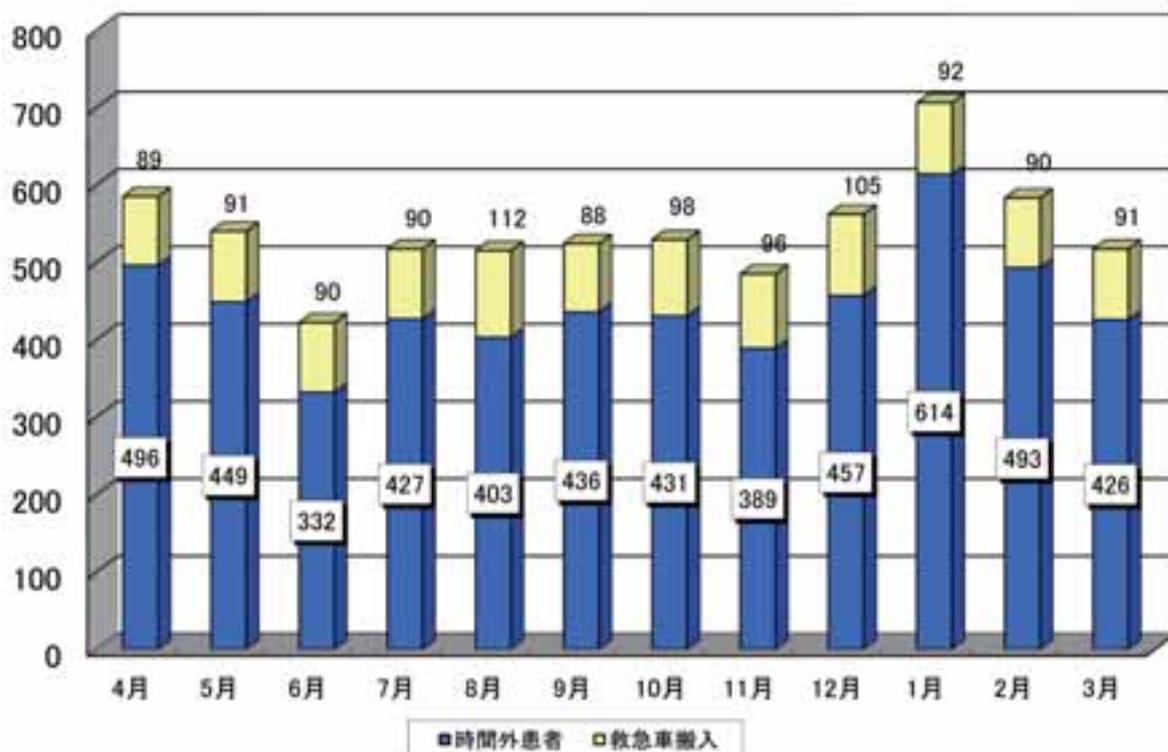
診療科別紹介数割合

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2010	44	27	49	43	44	43	39	37	48	43	39	49	505
	2011	43	32	27	27	53	46	44	44	37	53	55	56	517
糖 科	2010	8	2	3	12	6	6	9	15	9	10	10	8	98
	2011	2	12	11	8	9	14	16	14	14	22	15	5	142
透 析	2010	4	6	2	2	0	2	1	1	3	4	0	0	25
	2011	0	3	2	1	0	1	1	4	2	2	1	2	19
小 児 科	2010	7	6	6	4	6	10	7	9	5	7	4	10	81
	2011	7	5	6	5	14	10	8	7	6	11	6	7	92
外 科	2010	32	21	24	32	47	42	46	36	26	27	21	32	386
	2011	31	22	36	36	37	25	38	34	31	21	25	32	368
循環器科	2010	6	7	8	10	9	8	12	7	6	12	8	10	103
	2011	10	11	7	8	11	9	16	19	13	11	9	13	137
放射線科	2010	72	55	89	85	71	71	70	55	54	51	52	63	788
	2011	51	62	56	72	67	41	65	62	48	56	60	57	697
消化器科	2010	28	18	24	18	21	12	10	20	15	14	10	16	206
	2011	18	19	13	27	21	21	15	16	23	15	17	22	227
整形外科	2010	74	51	46	58	54	41	45	43	48	56	36	45	597
	2011	35	52	45	56	56	51	45	52	50	59	67	56	624
リハビリ	2010	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2011	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
呼吸器科	2010	10	11	9	15	12	7	3	7	6	14	12	9	115
	2011	7	17	14	6	10	15	4	13	2	7	5	5	105
泌尿器科	2010	6	7	7	8	12	3	7	1	7	10	5	9	82
	2011	0	3	10	2	3	1	0	1	7	5	3	2	37
合 計	2010	291	211	267	287	282	245	249	231	227	248	197	251	2,986
	2011	204	238	227	248	283	234	252	266	233	262	263	257	2,967

救急患者搬送

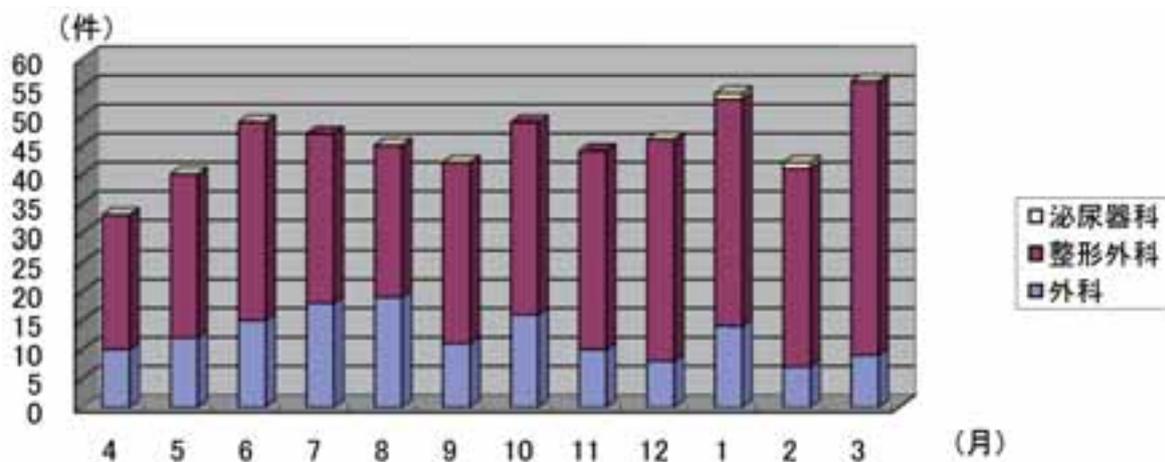
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車搬入	入院	47	45	43	50	66	49	53	47	33	53	38	46	570
	外来	42	46	47	40	46	39	45	49	72	39	52	45	562
	小計	89	91	90	90	112	88	98	96	105	92	90	91	1,132
時間外患者	入院	46	36	43	53	52	39	60	42	58	50	47	51	577
	外来	450	413	289	374	351	397	371	347	399	564	446	375	4,776
	小計	496	449	332	427	403	436	431	389	457	614	493	426	5,353
合計	入院	93	81	86	103	118	88	113	89	91	103	85	97	1,147
	外来	492	459	336	414	397	436	416	396	471	603	498	420	5,338
総合計		585	540	422	517	515	524	529	485	562	706	583	517	6,485

救急患者推移



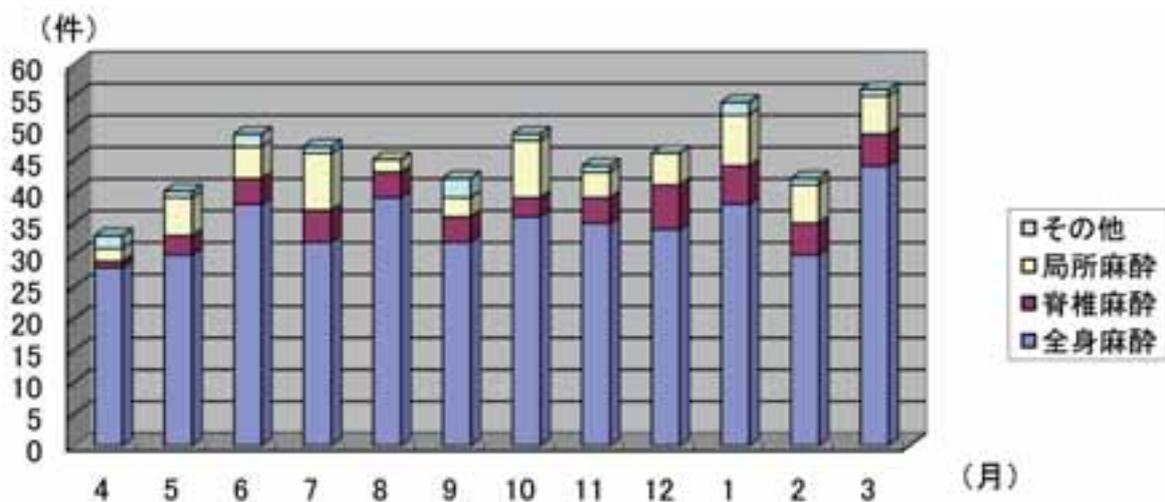
手術件数の推移と内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	10	12	15	18	19	11	16	10	8	14	7	9	149
整形外科	23	28	34	29	26	31	33	34	38	39	34	47	396
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
合計	33	40	49	47	45	42	49	44	46	54	42	56	547



麻酔件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身麻酔	28	30	38	32	39	32	36	35	34	38	30	44	416
脊椎麻酔	1	3	4	5	4	4	3	4	7	6	5	5	51
局所麻酔	2	6	5	9	2	3	9	4	5	8	6	6	65
その他	2	1	2	1	0	3	1	1	0	2	1	1	15
合計	33	40	49	47	45	42	49	44	46	54	42	56	547



リハビリテーション部

入院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
PT	脳血管 I	1,535	1,868	1,736	1,758	1,879	1,847	1,867	1,632	1,469	1,154	1,103	1,403	19,251
	廃用症候群 I	733	780	708	658	762	621	538	439	578	510	532	499	7,358
	運動器 I	3,188	3,129	3,612	3,355	3,299	3,086	3,238	3,548	3,876	3,946	3,919	4,139	42,335
	運動器 II	49	86	84	72	155	105	178	69	104	115	51	77	1,145
	呼吸器 I	38	11	26	10	0	12	26	57	6	19	22	7	234
	早期加算	2,187	2,133	2,065	2,207	2,288	2,280	2,433	2,055	2,624	2,167	2,330	2,286	27,055
	消炎・鎮痛・マッサージ	15	23	13	15	38	22	0	8	25	0	6	20	185
消炎・鎮痛・器具	10	20	33	43	43	24	33	21	17	10	1	4	259	
OT	脳血管 I	1,558	1,949	1,844	1,843	1,936	1,901	1,957	1,746	1,564	1,286	1,280	1,606	20,470
	廃用症候群 I	241	255	322	419	410	291	230	299	378	237	303	299	3,684
	運動器 I	1,559	1,900	2,317	2,376	2,673	2,405	2,364	2,565	2,829	3,206	3,198	3,005	30,397
	運動器 II	0	4	0	0	20	57	44	0	0	17	0	71	213
	早期加算	1,028	1,184	1,262	1,545	1,613	1,540	1,453	1,333	1,874	1,657	1,665	1,586	17,740
	消炎・鎮痛・マッサージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消炎・鎮痛・器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ST	脳血管 I	1,558	1,696	1,670	1,476	1,646	1,578	1,511	1,523	1,412	1,227	1,148	1,463	17,908
	廃用症候群	429	357	488	329	395	359	276	337	511	611	531	322	4,945
	早期加算	557	365	466	499	740	664	422	443	560	589	576	628	6,509
リハビリテーション総合実施計画書		174	171	182	184	186	187	192	198	204	190	205	225	2,298

外来		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
PT	脳血管 II	106	86	75	69	68	52	61	41	31	26	21	23	659
	廃用症候群 II	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運動器 II	351	362	496	345	390	270	270	341	354	367	390	335	4,271
	呼吸器 II	0	0	0	0	0	0	15	9	2	0	0	0	26
	介達牽引	0	1	1	2	1	2	1	1	1	1	0	2	13
	消炎・鎮痛・マッサージ	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	6
	消炎・鎮痛・器具	135	140	188	300	308	285	332	339	371	329	338	275	3,340
OT	脳血管 II	54	46	61	50	41	29	59	90	36	5	23	39	533
	運動器 II	165	137	219	142	157	163	178	229	231	186	227	280	2,314
	消炎・鎮痛・マッサージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消炎・鎮痛・器具	12	8	2	0	1	1	1	8	16	21	16	12	98
ST	脳血管 II	177	111	133	178	201	194	176	150	156	174	171	213	2,034
リハビリテーション総合実施計画書		54	54	65	55	61	47	57	53	61	60	53	55	675

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院前自宅訪問指導	9	4	8	3	9	10	10	13	5	6	6	15	98
退院後自宅訪問指導	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4

栄養業務

疾患別栄養指導状況及び集団指導対象者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	入院	29	20	18	23	20	19	26	24	18	17	23	23	260
	外来	70	72	87	60	70	71	66	63	51	83	106	97	896
腎疾患	入院	3	3	5	4	1	2	3		6	1	7	7	42
	外来		4			2		1			1		2	10
脂質異常症	入院	4	1		6	7	4	3	6	5		4	4	44
	外来	3	4	5	7	7	6	2	4	6	5	5	9	63
高血圧	入院	9	14	16	13	18	12	27	23	19	14	23	22	210
	外来	4	4	3	4	5	7	11	8	3	2	5	5	61
心疾患	入院	5	4	6	2	2	2	2	3	3	9	5	5	48
	外来							1			1		2	4
肝疾患	入院		1		1	2	1		1	1		2	4	13
	外来			2		2	1	1		1				7
胃・十二指腸潰瘍	入院	1						1		2	1	1		6
	外来	2	5	1			1					4	1	14
炎症性腸疾患	入院	1	1						1		1			4
	外来						1							1
膵炎	入院					1								1
	外来				2									2
貧血	入院										1			1
	外来					1						1		2
痛風・高尿酸血症	入院	1												1
	外来	1	1	1		1	2	1					1	8
消化管術後	入院	1		2										3
	外来													0
嚥下障害 その他	入院			1					1	1	1	1		5
	外来						1					1		2
合計		134	134	147	122	139	130	145	134	116	137	188	182	1708
集団指導	入院	6	8	5	6	5	8	9	6	7	10	5	5	80

延食数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常食		3,043	2,910	3,344	2,942	2,650	2,336	2,915	2,774	3,693	3,599	2,679	3,091	35,976
流動		134	87	172	120	119	39	86	46	84	105	131	104	1,227
軟菜		3,356	3,561	3,715	4,070	4,053	3,605	3,719	3,083	2,893	3,748	3,267	3,948	43,018
特別食		6,461	7,189	6,054	6,823	7,908	7,384	7,106	7,451	7,607	6,580	7,967	8,197	86,727
調整栄養		1,195	1,463	1,591	1,124	987	1,363	1,300	1,207	1,177	1,223	919	874	14,423
合計		14,189	15,210	14,876	15,079	15,717	14,727	15,126	14,561	15,454	15,255	14,963	16,214	181,371

薬局業務

処方箋枚数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 来	院 内	160	230	141	165	187	182	227	202	240	272	278	251	2,535
	院 外	2,156	2,072	2,103	1,986	2,216	2,053	2,113	2,097	2,079	2,265	2,137	2,211	25,488
入 院	1 病 棟	426	462	474	533	540	537	557	478	551	564	537	553	6,212
	2 病 棟	516	506	583	498	579	513	524	513	541	482	563	560	6,378
	3 病 棟	348	394	306	288	408	351	352	381	388	393	337	370	4,316
	5 病 棟	252	296	366	321	413	405	312	318	355	368	342	399	4,147
	入院合計	1,542	1,658	1,729	1,640	1,940	1,806	1,745	1,690	1,835	1,807	1,779	1,882	21,053
稼働日数	外 来	20	19	22	20	23	20	20	20	19	19	21	21	244
	入 院	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日平均	外 来	115.8	121.2	102.0	107.6	104.5	111.8	117.0	115.0	122.1	133.5	115.0	117.2	114.8
	入 院	51.4	53.5	57.6	52.9	62.6	60.2	56.3	56.3	59.2	58.3	61.3	60.7	57.5

注射指示箋枚数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 来		388	464	393	496	492	464	429	392	410	480	434	470	5,312
透 析		496	547	489	545	543	539	534	524	569	598	552	581	6,517
入 院	1 病 棟	348	341	371	517	460	440	321	348	384	400	290	362	4,582
	2 病 棟	494	687	601	651	683	595	513	645	677	860	670	747	7,823
	3 病 棟	42	51	37	33	54	47	70	38	32	27	37	33	501
	5 病 棟	706	621	546	518	638	583	583	672	675	831	565	566	7,504
	小 計	1,590	1,700	1,555	1,719	1,835	1,665	1,487	1,703	1,768	2,118	1,562	1,708	20,410
合 計		2,474	2,711	2,437	2,760	2,870	2,668	2,450	2,619	2,747	3,196	2,548	2,759	32,239

無菌製剤処理加算請求件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 来		14	2	16	11	15	12	12	14	12	12	10	7	137
入 院		5	16	4	4	3	2	0	0	1	3	4	3	45
合 計		19	18	20	15	18	14	12	14	13	15	14	10	182

持参薬鑑別実施件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件 数		147	129	117	148	164	163	149	139	124	147	144	173	1,744

薬剤管理指導料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイリスク薬剤管理指導	5	0	0	16	2	0	2	0	8	21	39	15	108
薬剤管理指導件数	1	0	0	7	4	0	0	0	5	7	14	6	44
合計	6	0	0	23	6	0	2	0	13	28	53	21	152

放射線業務

放射線科検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
一般撮影	外来	849	1,000	1,054	934	1,106	914	995	956	916	1,021	1,077	1,120	11,942	19,263
	入院	574	565	581	567	604	616	612	632	669	693	568	640	7,321	
C T	外来	178	216	256	237	222	200	244	219	207	207	241	221	2,648	3,682
	入院	87	87	83	77	95	82	76	81	86	110	74	96	1,034	
M R I	外来	96	113	114	110	117	115	124	135	100	134	142	129	1,429	1,933
	入院	40	32	44	32	63	38	53	43	39	44	33	43	504	
透視造影	外来	4	11	3	5	16	10	9	12	8	4	6	7	95	325
	入院	19	20	15	31	17	17	21	16	21	22	18	13	230	
乳房撮影	外来	1	4	10	12	8	23	28	25	19	18	43	9	200	201
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
骨塩定量	外来	6	9	10	5	9	1	5	5	4	4	6	5	69	69
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	外来	1,134	1,353	1,447	1,303	1,478	1,263	1,405	1,352	1,254	1,388	1,515	1,491	16,383	25,473
	入院	720	704	723	707	779	753	762	772	815	869	693	793	9,090	

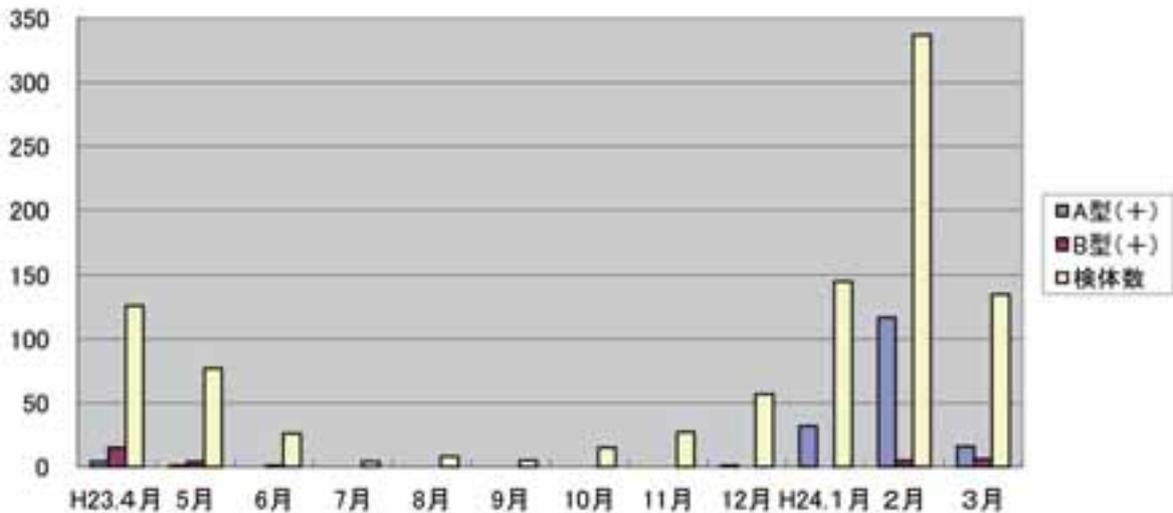
年度別検査数推移

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
一般撮影	14,787	15,507	15,964	17,424	19,263
C T	2,570	2,620	2,772	3,301	3,682
M R I	2,234	2,183	2,066	1,868	1,933
透視造影	292	406	328	292	325
乳房撮影	149	106	266	263	201
骨塩定量	75	94	88	110	69
合計	20,107	20,916	21,484	23,258	25,473

検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
検 体 検 査 領 域	検査検体数	外来	4,777	4,857	5,605	4,961	5,547	4,703	5,095	4,790	5,782	5,472	5,409	5,556	62,554	93,473
		入院	2,447	2,529	2,230	2,361	2,747	2,729	2,696	2,843	2,666	2,717	2,448	2,506	30,919	
	輸血製剤 払い出し 単位数	RCC-1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	592
		RCC-2	39	34	38	33	46	52	52	50	60	45	47	33	529	
		FFP-2	0	0	2	0	2	3	2	1	5	1	2	2	20	
		PC-10	4	9	5	4	4	4	5	0	0	0	0	0	35	
		自己血	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	6	
	細菌培養検査	一般細菌	141	164	193	138	175	191	141	130	133	182	145	146	1,879	2,038
		抗酸菌	20	8	12	13	6	7	21	20	18	5	21	8	159	
	病理組織		28	23	37	30	39	24	41	24	17	26	19	22	330	330
細胞診		19	22	19	23	20	9	13	25	21	18	14	17	220	220	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
生 理 検 査 領 域	心電図		307	311	339	336	383	311	351	279	281	308	299	353	3,858	
	ホルター心電図		13	7	6	5	10	13	16	12	5	5	8	12	112	
	負荷心電図	マスター	0	0	1	1	3	0	1	0	3	4	1	0	14	
		エルゴメータ	2	4	7	2	5	3	2	4	0	6	4	4	43	
	肺機能	SVC+FV	23	23	47	21	31	22	28	36	22	32	27	29	341	
		FV	12	11	7	5	6	12	12	12	16	7	10	11	121	
	ABI		3	5	8	5	5	5	4	5	5	4	3	8	60	
	眼底		17	14	36	21	18	6	22	14	9	13	17	11	198	
	心エコー		53	51	54	39	67	51	44	61	54	58	50	64	646	
	腹部エコー		59	78	101	90	80	64	72	77	76	63	46	65	871	
	頸部エコー		2	0	4	1	2	1	5	4	1	1	3	0	24	
乳腺エコー		6	10	17	13	8	10	19	13	10	6	9	11	132		

インフルエンザ情報（平成23年度）



内視鏡

内視鏡検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
E F-胃・十二指腸	77	74	87	81	91	71	83	89	80	70	78	63	944	78.7
E F-大腸（S状結腸）	8	8	10	3	6	7	7	5	12	4	7	8	85	7.1
E F-大腸 （上行結腸及び盲腸）	13	15	24	15	31	18	18	14	9	11	16	11	195	16.3
E F-大腸 （下行結腸及び横行結腸）	1	1	2	2	1	0	1	2	1	2	2	3	18	1.5
E F-膀胱尿道	2	7	2	4	6	1	0	0	4	5	1	4	36	3.0
E F-気管支	0	2	0	0	1	0	2	2	0	0	1	0	8	0.7
胃瘻カテーテル交換法	20	12	16	11	15	12	18	16	21	14	13	14	182	15.2

内視鏡下手術

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡的消化管止血術	1	3		1	1	3	5		3		1		18
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術 （その他のポリープ・粘膜切除術）					1							2	3
内視鏡的十二指腸ポリープ・粘膜切除術 （その他のポリープ・粘膜切除術）						1							1
内視鏡的胆道碎石術									1				1
内視鏡的乳頭切開術 （乳頭括約筋切開のみのもの）	1							2		1			4
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石術を伴う）					1		1						2
内視鏡的結腸ポリープ切除術			1		1		3	3	2	2		1	13
内視鏡的大腸ポリープ切除術		1				1		1				1	4
内視鏡的胃内異物摘出術											1		1
内視鏡的結腸粘膜切除術（他）	1			1		2							4
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	1							3					4
内視鏡的食道異物摘出術						1							1
内視鏡的食道下部異物摘出術													0
内視鏡的胆道ステント留置術					1				1				2

この1年 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

期 日	行 事
平成23年4月1日(金)	<p>平成23年度 新入職職員辞令交付及び入職式</p>  <p>★入職者 【診療部】 岡元 信和・前田 陽夫 【看護部】 稲田 翔子・坂本 歩・猿渡 美由紀・須波 琢朗 千代永 怜奈・遠見 亜衣・林 加菜里・松田 梓・吉川 真代 【薬 局】 山本 清子 【リハビリテーション部】 下田 有紀・深村 亮太・田原 裕美・濱 愛美・林田 拓哉 【事務部】 上田 壽義・嶋村 由起子・南崎 遥</p>
4月1日(金)	<p>上野動物園のジャイアントパンダ、リーリー・シンシン公開</p> 
4月22日(金)	<p>第9回クリーン作戦(当院職員・環境保全隊) 約200名参加</p>   
4月24日(日)	<p>日本医療機能評価機構病院機能評価(Ver.6)認定</p> 
5月1日(日)	<p>特定医療法人より社会医療法人に認定</p>  <p>★5月の入職者 【リハビリテーション部】 村田 将吾 (1日)</p>
5月12日(木)	<p>東京都の警備会社で6億400万円が奪われる強盗致傷事件が発生 国内での1件の強盗事件としては史上最悪の被害額</p>
5月15日(日)	<p>宇城地区総合災害訓練 (松合新港)DMA T チーム参加</p>   

期 日	行 事	
平成23年6月24日(金)	小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産に登録  <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <p>★6月の入職者</p> <p>【診療部】 大多和 聡 (1日)</p> <p>【薬局】 川崎 裕美 (1日)</p> <p>【栄養管理科】 守田 美香 (9日)</p> <p>【地域医療連携室】 山下 恵津子 (20日)</p> </div>	
7月1日(金)	開院27周年記念式典 ホテルニューオータニ熊本 253名参加   <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <p>★7月の入職者</p> <p>【臨床検査科】秋岡 拓郎(1日)</p> </div>	
7月18日(月)	なでしこジャパン FIFA女子ワールドカップで優勝(ドイツ)	
7月24日(日)	地上アナログテレビ放送終了	
8月6日(土)	松橋ふるさと祭り参加 60名参加  	
9月2日(金)	野田内閣発足  <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <p>★9月の入職者</p> <p>【看護部】村田 佳寿子 (1日)</p> <p>山村 由美 (1日)</p> <p>【薬局】 中尾 真美 (2日)</p> </div>	
9月3日(土)	災害拠点病院の院内訓練(トリアージ) 100名参加   	
9月4日(日)	熊本県総合防災訓練(宇城緑川ダム周辺) 6名参加  	

期 日	行 事	
平成23年9月9日(金)	小山田医師壮行会 気仙沼病院支援(9月11日～15日)	
		
9月21日(水)	第10回クリーン作戦(当院職員・環境保全隊) 約200名参加	
		
10月7日(金)	社会医療法人・病院機能評価Ver.6認定祝賀会 (ホテルニューオータニ熊本 188名参加)	
		
		★10月の入職者 【看護部】森 泰子(1日)
10月18日(火)	熊本市の政令指定都市移行が閣議決定 2012年4月1日付移行、20番目の政令指定都市となる	
10月28日(金)～ 10月29日(土)	アソシエート、トリアージ訓練 3名参加	
11月5日(土)～ 11月6日(日)	職員研修旅行 韓国 釜山(1泊2日) 23名参加	
		
11月5日(土)	職員研修旅行 門司港レトロの旅(日帰り) 大人22名・子供10名参加	
		
11月12日(土)～ 11月13日(日)	職員研修旅行 萩・津和野の旅(1泊2日) 23名参加	
		

期 日	行 事
平成23年11月19日(土)	職員研修旅行 鹿兒島水族館・動物園(日帰り) 大人45名・子供19名参加
	
11月22日(火)	第6回 院内研究発表会(11演題)
	
11月26日(土)~ 11月27日(日)	職員研修旅行 韓国 釜山(1泊2日) 4名参加
	
12月3日(土)	むつみ会主催 職員忘年会(松橋 ホワイトパレス)
	 <p data-bbox="1117 1153 1394 1279">★12月の入職者 【地域医療連携室】 桑野 克哉 (1日) 【臨床心理士】 榎 淳子 (2日)</p>
12月12日(月)	今年の漢字 「絆」
	
平成24年2月29日(水)	東京スカイツリー竣工 自立式鉄塔としては世界一となる高さ634m
	 <p data-bbox="1018 1653 1394 1787">★1月の入職者 【臨床検査科】 江内 愛実 (1日) 【地域医療連携室】 藪田 将平 (1日) ★2月の入職者 【看護部】 深迫 恵美子 (13日)</p>
3月1日(木)	消防火災訓練
	 <p data-bbox="1117 1982 1394 2031">★3月の入職者 【看護部】 藤本 翔太 (21日)</p>

平成23年度症例検討会発表一覧

回数	開催日	発表者	タイトル
1	平成23年4月6日	福田 秀明	大動脈奇型
2	平成23年4月13日	米良 昭彦	進行性胃癌による転移性肺腫瘍の一例
		松田 貞士	上部消化管出血
3	平成23年4月20日	竹田 晴生	GLP-1アナログ注射療法を入院にて導入した2症例
4	平成23年4月27日	赤城 哲哉	外反母趾
5	平成23年5月11日	中村 亮斉	心不全、肺炎の経過中に発症した急性間質性肺炎/ARDSの一例
6	平成23年5月18日	中村 亮斉	拡張障害主体の心不全により発見された発症時期不詳の・Stabford type Aの大動脈解離に合併した乳癌の一例
		福田 秀明	退院翌日に吐物嚥下性肺炎で再入院となった症例
7	平成23年5月25日	米良 昭彦	柴苓湯にとると思われる薬剤性肺炎の一例
8	平成23年6月1日	中村 武利	両側尿管結石嵌頓の1例
9	平成23年6月8日	小山田 直朗	敗血症で入院して脳梗塞を発症した死亡症例
		福田 秀明	7年目に再発した乳癌症例
10	平成23年6月15日	采田 憲昭	脳血管リハビリにおける内視鏡下胃瘻造設術後完全経口摂取移行の経験症例
11	平成23年6月22日	福田 秀明	アナフィラキシーショック
12	平成23年7月6日	小山田 直朗	急性C型肝炎
13	平成23年7月13日	米良 昭彦	閉塞性肺炎を来した小細胞癌の1例
		福田 秀明	大腸癌の進行により全身浮腫、両側胸水を来した1例
14	平成23年7月20日	鮑田 和博	積極的な緩和ケアにより病的骨折治療後に軽快し得た末期前立腺癌の1症例
15	平成23年8月3日	栗崎 貴	非常に稀な組織型を示した超高齢悪性乳腺腫瘍の2例
16	平成23年8月10日	栗崎 貴	膝頭部癌症例
		福田 秀明	脳出血後遺症に合併した誤嚥性肺炎の1例
17	平成23年8月17日	松田 貞士	内視鏡胃瘻造設に伴う合併症について
18	平成23年8月24日	塩川 徳	高エネルギー外傷における脛骨高原(膝関節内)骨折術後の経過・18歳の症例
19	平成23年9月7日	中村 亮斉	ステロイドが著効した不明熱の一例
20	平成23年9月14日	松田 貞士	進行直腸癌の一例
		福田 秀明	慢性腎不全患者に合併した十二指腸潰瘍症例
21	平成23年9月21日	竹田 晴生	民間療法に頼って悪化した糖尿病の2症例
22	平成23年9月28日	福田 秀明	じん肺
23	平成23年10月5日	小山田 直朗	東日本大地震で被災した気仙沼・私立本吉病院に対する医療支援
24	平成23年10月12日	福田 秀明	胸膜肥厚、石灰化に伴う肺癌症例(非結核性抗酸菌症合併)
		鮑田 和博	CART療法の経験
25	平成23年10月19日	盛 三千孝	二次性副甲状腺機能亢進症について
26	平成23年10月26日	米良 昭彦	再発性細菌性胸膜炎の1例
27	平成23年11月9日	栗崎 貴	小腸癌再発症例
		福田 秀明	ジュムザールとナベルピン使用を継続した肺癌(扁平上皮癌)の症例
28	平成23年11月16日	采田 憲昭	成人発症の百日咳
29	平成23年11月30日	赤城 哲哉	脊髄損傷に種々の脊髄障害を合併した1例
30	平成23年12月14日	福田 秀明	陳旧性心筋梗塞に伴う慢性心不全患者に合併した嚥下性肺炎の症例
		米良 昭彦	高齢者非小細胞肺癌の1例
		米良 昭彦	健康食品による胸膜炎の1例
31	平成23年12月21日	小山田 直朗	抗血栓剤の止め方
32	平成23年12月28日	栗崎 貴	PTBD(経皮的胆道ドレナージ)に関連した合併症3例の紹介
33	平成24年1月11日	福田 秀明	慢性呼吸不全(肺気腫)患者に合併した嚥下性肺炎の症例
		福田 秀明	当院最高齢の認知症患者に発症した嚥下性肺炎の死亡症例
34	平成24年1月18日	福田 秀明	内服薬誤嚥により急性呼吸不全を来した1症例
35	平成24年1月25日	塩川 徳	右膝軟骨損傷を生じた70歳サッカー選手(ねんりんピック熊本県選抜選手)
36	平成24年2月8日	鮑田 和博	胃全摘術中の胸部大動脈瘤破裂の疑い
		中村 亮斉	総胆管結石治療中に既知の口腔底癌によるTrousseau syndromeを来した一例
37	平成24年2月15日	松田 貞士	化学療法が奏効し疼痛軽減できた再発卵巣癌の一例
38	平成24年2月22日	福田 秀明	肺胞上皮置換型の肺転移を来した原発性肺癌(腺癌)の1例
39	平成24年2月29日	竹田 晴生	運動療法の工夫により肝機能と体重が改善した脂肪肝合併高血圧症の一例
40	平成24年3月14日	福田 秀明	長期人工呼吸管理を行なった症例
		松田 貞士	大腸癌肝転移の1例
41	平成24年3月21日	福田 秀明	胸腔内に増大する血腫を呈した胸膜肉腫の一例
42	平成24年3月28日	中村 武利	心血管合併症が続いた血液透析の一例

I. 講演：学会発表

	学会名	開催地	発表演題	発表者	発表日
1	糖尿病最新治療勉強会	松本市(長野)	糖尿病のインスリン療法最近のトレンド	竹田 晴生	2011.4.9
2	第40回日本脊椎脊髄病学会	東京都	新鮮骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折の治療成績と腹部随伴症状の検討	大多和 聡	2011.4.21
3	宇城市ファミリーサポートセンター援助会員養成講習会	宇城市	子どもの健康と安全	村上 幹彦	2011.5.31
4	第16回 熊本NST研究会 学術講演会	熊本市	当院透析患者に対する栄養指標としてのGNRIの有用性	松本 直子	2011.6.4
5	宇城薬剤師会学術講演会	宇城市	高血圧症の治療戦略	中村 亮斉	2011.6.22
6	第14回阪神糖尿病セミナー(HANDS)	大阪府	インスリン療法よもやま話	竹田 晴生	2011.7.16
7	第16回日本緩和医療学会学術大会	札幌市	積極的な緩和ケアにより病的骨折治療後に軽快し得た末期前立腺癌の1症例	鮑田 和博	2011.7.29
8	日本医師会生涯教育協力講座	熊本市	地域医療と予防接種～ワクチンがもたらす恩恵～ 「予防接種率向上に向けて」	村上 幹彦	2011.7.30
9	第34回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会	古賀市(福岡)	内服薬誤嚥により急性呼吸不全を来した1症例	福田 秀明	2011.8.20
10	平成23年度 病院事務管理研究会	熊本市	診療情報提供書に関するデータ管理について	村田 誠	2011.8.20
11	リリー・ウェブカンファレンス	福岡市	糖尿病のインスリン療法 最近の話題	竹田 晴生	2011.9.12
12	(社) 熊本県作業療法士会研修会	熊本市	高次脳機能障害評価CAT(標準注意検査法)の講演	縄馬 明人	2011.10.2
13	リハビリテーション・ケア合同研究大会	熊本市	当院での退院後自宅訪問の調査と検討	湯貫 靖大	2011.10.29
14	熊本県病院薬剤師会オンコロジー研究会	熊本市	XELOX+Avastinが奏功した1症例	桑崎 綾子	2011.11.5
15	第11回熊本糖尿病教育看護研究会	熊本市	インスリン療法よもやま話～事例から学ぶ20の教訓～	竹田 晴生	2011.11.5
16	熊本県栄養士会宇城支部研修会	宇土市	当院の摂食嚥下訓練食あれこれ	野村 千津子	2011.11.8
17	第73回日本臨床外科学会総会	東京都	虫垂憩室炎の一例	栗崎 貴	2011.11.17
18	第74回日本臨床外科学会総会	東京都	S状結腸印環細胞癌の1例	松田 貞士	2011.11.18
19	糖尿病治療学術講演会	静岡市	糖尿病治療最前線～インスリン療法を中心に～	竹田 晴生	2011.12.8
20	県理学療法士協会八代ブロック新人研修会	宇城市	FIMを用いた脳卒中患者の予後予測の活用	宇野 晃輔	2012.1.15
21	県理学療法士協会八代ブロック新人研修会	宇城市	下肢切断患者の断端管理～歩行時の影響と義足調整～	脇本 恵理香	2012.1.15
22	県作業療法士会宇城ブロック症例発表	宇城市	生活の質向上を援助することができた一例～右片麻痺患者にパッチワークを導入して～	野仲 泰良	2012.1.26
23	県作業療法士会宇城ブロック症例発表	宇城市	高次脳機能障害、失語症を来した症例の自宅退院に向けて～重度心疾患を合併した症例～	村田 将吾	2012.1.26
24	県作業療法士会宇城ブロック症例発表	宇城市	発動性低下、注意障害を呈した症例～在宅復帰後の生活を視野に入れた介入～	山崎 成実	2012.1.26
25	第27回日本静脈経腸栄養学会	神戸市	当院透析患者に対する栄養指標としてのGNRIの有用性	小野 絵里奈	2012.2.23
26	第27回日本静脈経腸栄養学会	神戸市	外来透析患者におけるGNRI値の推移の有用性について	鮑田 和博	2012.2.24
27	第27回日本静脈経腸栄養学会	神戸市	急性膵炎の栄養管理	村上 智佳	2012.2.23
28	第27回日本静脈経腸栄養学会	神戸市	PEG外来導入の効果を検討して	岩井 芳孝	2012.2.24
29	第27回日本静脈経腸栄養学会	神戸市	経口摂取可能なPEG患者の病態	大畑 奈美依	2012.2.24
30	第27回日本静脈経腸栄養学会	神戸市	PEG連携会議を継続して	富永 栄美	2012.2.24
31	第35回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会	飯塚市(福岡)	肺胞上皮置換型の肺転移を来した原発性肺癌(腺癌)の1例	福田 秀明	2012.3.2
32	宇城市ファミリーサポートセンター援助会員養成講習会	宇城市	子どもの健康と安全	村上 幹彦	2012.3.6
33	日本医療マネジメント学会	水俣市	転倒・転落発生の低減に向けての取り組み～回復期病棟におけるKYTの効果～	岩井 芳孝	2012.3.10
34	日本医療マネジメント学会	水俣市	スポンジ洗浄除菌効果を検証する	北原 麻希子	2012.3.10
35	日本医療マネジメント学会	水俣市	FIMを用いた脳卒中患者の予後予測の活用	平ノ上 隆康	2012.3.10
36	日本医療マネジメント学会	水俣市	PEG外来における栄養状態の把握及び栄養内容の聞き取り調査	守田 美香	2012.3.10

Ⅱ.研修受入れ

	実習名	実習科目	依頼元	実習期間	人数	受入れ部署
1	平成22年度熊本大学医学部附属病院群卒後臨床研修プログラム	プログラムD「地域」	熊本大学医学部附属病院	2011.4.1-5.31	1名	診療部
2	臨床実習	評価実習	九州中央リハビリテーション学院	2011.4.4-23	1名	理学療法科
3	看護学生臨床実習	成人Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.4.11-28	5名	看護部
4	看護学生臨床実習	老年Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.4.11-28	7名	看護部
5	看護学生臨床実習	小児	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.4.18-28	4名	看護部
6	熊本大学医学部4年生学外臨床実習	臨床入門	熊本大学医学部附属病院	2011.4.20	2名	診療部
7	看護学生臨床実習	老年Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.5.9-28	4名	看護部
8	看護学生臨床実習	成人Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.5.9-28	10名	看護部
9	臨床実習	長期実習	熊本保健科学大学	2011.5.9-6.17	1名	理学療法科
10	臨床実習	長期実習	熊本総合医療リハビリテーション学院	2011.5.9-6.18	1名	作業療法科
11	臨床実習	長期実習	メディカル・カレッジ青照館	2011.5.9-7.2	1名	理学療法科
12	臨床実習	長期実習	九州看護福祉大学	2011.5.9-7.2	1名	理学療法科
13	臨床実習	長期実習	メディカル・カレッジ青照館	2011.5.9-7.9	1名	作業療法科
14	看護学生臨床実習	小児	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.5.16-19	2名	看護部
15	看護学生臨床実習	成人Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.5.30-6.16	4名	看護部
16	看護学生臨床実習	老年Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.5.30-6.16	5名	看護部
17	臨床実習	長期実習	神戸学院大学	2011.6.6-7.27	1名	理学療法科
18	臨床実習	長期実習	福岡和白リハビリテーション学院	2011.6.6-7.29	1名	理学療法科
19	臨床実習	医療情報管理士科	福岡医療秘書福祉専門学校	2011.6.13-7.8	1名	医事課
20	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.6.20-23	2名	看護部
21	看護学生臨床実習	成人Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.6.20-7.7	3名	看護部
22	看護学生臨床実習	老年Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.6.20-7.7	4名	看護部
23	看護学生臨床実習	小児外来	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.6.27-30	2名	看護部
24	看護学生臨床実習	小児外来	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.7.4-7	2名	看護部
25	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.7.11-14	2名	看護部
26	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.7.18-21	2名	看護部
27	臨床実習	長期実習	長崎リハビリテーション学院	2011.7.19-9.9	1名	言語聴覚療法科
28	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.7.25-28	2名	看護部
29	臨床実習	見学実習	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.7.25-29	1名	理学療法科
30	臨床実習	評価実習	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.7.25-30	1名	作業療法科
31	臨床実習	長期実習	北九州リハビリテーション学院	2011.7.25-9.24	1名	理学療法科
32	臨床実習	長期実習	熊本総合医療リハビリテーション学院	2011.7.25-10.1	1名	理学療法科
33	高校生の一泊看護体験		熊本県看護協会主催	2011.7.29	8名	看護部
34	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.8.1-4	2名	看護部
35	看護学生臨床実習	成人・老年看護	宇城看護専修学校	2011.8.1-11	15名	看護部
36	臨床実習	長期実習	九州中央リハビリテーション学院	2011.8.8-10.1	1名	理学療法科
37	臨床実習	長期実習	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.8.8-10.1	1名	理学療法科

	実習名	実習科目	依頼元	実習期間	人数	受入れ部署
38	臨床栄養臨地実習	臨床栄養学	熊本県立大学環境共生学部	2011.8.22-9.2	2名	栄養管理科
39	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.8.29-9.1	2名	看護部
40	給食管理学学外実習	病院給食の運営にかかわる全て	尚綱大学短期大学部食物栄養学科	2011.8.29-9.2	3名	栄養管理科
41	看護学生臨床実習	成人・老年看護	宇城看護専修学校	2011.8.29-9.8	16名	看護部
42	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.9.5-8	2名	看護部
43	病院実習	医療情報学科	川崎医療福祉大学	2011.9.5-16	1名	医事課
44	看護学生臨床実習	小児外来	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.9.12-16	2名	看護部
45	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.9.26-29	2名	看護部
46	看護学生臨床実習	老年Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.9.26-10.14	10名	看護部
47	看護学生臨床実習	成人Ⅱ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.9.26-10.14	2名	看護部
48	臨床実習	評価実習	九州看護福祉大学	2011.9.26-10.15	1名	理学療法科
49	看護学生臨床実習	小児外来	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.10.3-6	1名	看護部
50	臨床実習	長期実習	鹿児島第一医療リハビリ専門学校	2011.10.3-11.12	1名	理学療法科
51	看護学生臨床実習	小児外来	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.10.11-14	1名	看護部
52	職場体験		熊本県立松橋高等学校	2011.10.16-18	2名	医事課
53	看護学生臨床実習	統合	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.10.17-11.4	10名	看護部
54	職場体験		熊本県立松橋高等学校	2011.10.18-20	4名	看護部
55	看護学生臨床実習	小児外来	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.10.24-27	2名	看護部
56	臨床実習	長期実習	メディカル・カレッジ青照館	2011.10.31-12.24	1名	理学療法科
57	看護学生臨床実習	小児看護	八代看護学校	2011.11.7-10	2名	看護部
58	臨床実習	評価実習	熊本保健科学大学	2011.11.7-18	1名	作業療法科
59	看護学生臨床実習	統合	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.11.7-25	11名	看護部
60	看護学生臨床実習	基礎1-1	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2011.11.29-12.1	24名	看護部
61	看護学生臨床実習	基礎看護	宇城看護専修学校	2011.12.12-15	16名	看護部
62	臨床実習	見学実習	九州中央リハビリテーション学院	2011.12.12-17	1名	理学療法科
63	職場実習	医療総合事務科	熊本ソフトウェア株式会社	2011.12.14-1.18	1名	医事課
64	看護学生臨床実習	基礎看護	宇城看護専修学校	2011.12.19-22	16名	看護部
65	看護学生臨床実習	基礎1-2	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2012.1.10-13	24名	看護部
66	臨床実習	評価実習	熊本総合医療リハビリテーション学院	2012.1.10-28	1名	作業療法科
67	現場実習		熊本県立松橋養護学校	2012.1.16-27	1名	看護部
68	看護学生臨床実習	成人看護学Ⅰ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2012.1.16-2.2	20名	看護部
69	臨床実習	評価実習	熊本保健科学大学	2012.1.30-2.10	1名	理学療法科
70	臨床実習	見学実習	メディカル・カレッジ青照館	2012.2.6-10	3名	理学療法科
71	認定看護師実習	認定看護師課程実習(脳卒中リハビリテーション看護)	熊本保健科学大学	2012.2.6-17	2名	看護部
72	看護学生臨床実習	成人看護学Ⅰ	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2012.2.6-23	18名	看護部
73	臨床実習	評価実習	メディカル・カレッジ青照館	2012.2.6-25	1名	作業療法科
74	臨床実習	評価実習	メディカル・カレッジ青照館	2012.2.6-25	1名	理学療法科
75	臨床実習	見学実習	熊本保健科学大学	2012.2.13-18	1名	言語聴覚療法科
76	臨床実習	見学実習	メディカル・カレッジ青照館	2012.2.13-19	1名	言語聴覚療法科
77	第Ⅰ期医療機関実習	医療事務管理学科	熊本YMCA学院	2012.2.13-25	1名	医事課
78	臨床栄養臨地実習	臨床栄養学	尚綱大学生活科学部栄養科学科	2012.2.20-24	1名	栄養管理科
79	臨床実習	評価実習	鹿児島医療技術専門学校	2012.2.20-3.10	1名	作業療法科
80	臨床実習	評価実習	熊本総合医療リハビリテーション学院	2012.2.20-3.10	1名	理学療法科
81	職場体験		宇城市立松橋中学校	2012.2.28-3.1	5名	看護部
82	看護学生臨床実習	補習実習	熊本駅前看護リハビリテーション学院	2012.3.19-4.2	3名	看護部

院内外広報誌



院内外情報誌情報	発行部署	発行回数	発行部数(/回)
リハビリ便り	リハビリテーション部	年4回(5月・8月・11月・2月)	28
DI ニュース	薬局	月1回	23
院内情報誌	総務課	月1回	28
れいめい	総務課	年3回(5月・9月・1月)	750
やすらぎ	地域連携室	年3回(5月・8月・1月)	69
えいよう号	栄養管理科	月1回	170

ホームページ



■宇賀岳病院 院外向けホームページ

URL:<http://www.reimeikai.jp/>

デザイン更新日：平成22年9月9日

更新間隔：随時

1カ月間のアクセス推移

(期間：2012/04/30～05/30)：1742

約1年間のアクセス回数

(期間：2011/03/09～2012/04/02)：約23,000



■宇賀岳病院 看護部ホームページ

URL:http://www.reimeikai.jp/nursing_department/index.html

公開開始日：平成23年2月25日

更新間隔：随時